

# 県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして



みんなの力で元気もりもり



愛 媛 県

# 目 次

I	愛媛県森林環境税導入の経緯	1
II	森林環境税を活用した施策の仕組み	6
III	森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値	8
IV	平成19年度事業実績	
1	事業総括表	9
2	事業別実績	
(1)	県指定事業	
	・源流の森整備保全事業	10
	・集落防災緊急森林整備事業	12
	・流木等防止山地保全事業	14
	・里地里山再生モデル事業	16
	・えひめ漁民の森づくり実践活動事業	18
	・未整備森林緊急公的整備導入モデル事業	20
	・木の香る環境づくり促進事業	22
	・木に親しむ学び舎づくり促進事業	24
	・木質バイオマス利用促進事業	26
	・えひめ産材住宅普及啓発事業	28
	・公共施設木材利用推進事業	30
	・県立学校校舎整備事業	32
	・自然公園木製施設整備事業	34
	・木の香る公園施設整備事業	35
	・えひめ材の家づくり促進支援事業	36
	・バイオマスペレット利活用総合対策事業	38
	・県民と森との交流促進事業	40
	・県民参加の森設置・提供事業	44
	・「森はともだち」推進事業	48
	・自然観察会開催事業	50
	・森とのふれあい活動促進事業	52
(2)	公募事業	
	・県民参加の森づくり公募事業	54
	資料編	
	・税制度の概要	99
	・愛媛県森林環境税条例	100
	・愛媛県森林環境保全基金条例	101
	・愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿	102
	・森林環境税普及啓発用ロゴマーク・ポスター	103

# I 森林環境税導入の経緯

## 1 森林の働き

### (1) 森林の持つ機能の種類

森林は、土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、洪水や渇水を緩和する機能、風害や潮害を防ぐ機能、騒音や気候を緩和する機能、安らぎや憩いの場、教育的利用の場を提供するなどの保健・文化・教育的な機能、再生可能で環境に与える負荷も少ない木材の生産機能などを有しており、有形・無形に古くから私達の生活と深く関わっています。

特に最近では、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素を吸収・貯蔵する機能や多種多様な動植物の生息・生育の場を提供する生物多様性を保全する機能についても国際的に関心が高まりつつあるなど、森林に対する期待は多様化・高度化してきています。

### (2) 森林の機能の評価

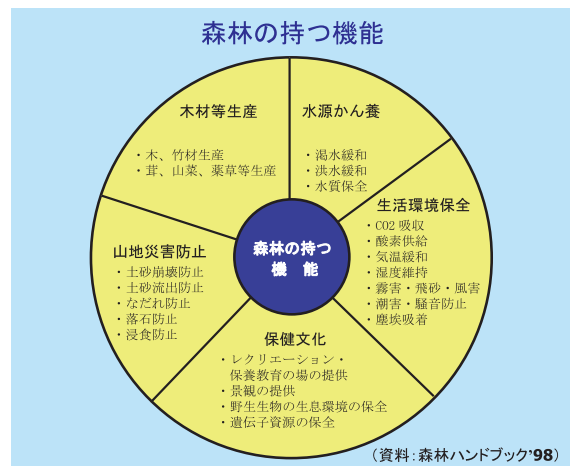
森林の機能については、本来、そのすべてを数値で評価することは不可能とされていますが、金額に置き換えることが可能な一部の公益的機能については、平成12年9月に林野庁から74兆9,900億とその評価額が公表されており、同じように愛媛県内の森林に置き換え算定したところ、1兆1,267億円となっています。

また、平成13年11月に日本学術会議が農林水産大臣に答申した「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価」では、年約70兆円と算定されています。

ただし、「森林の機能は総合的に発揮されるため、森林の価値を個々に評価し、単純に集計することは、森林の本質を正しく伝えられない可能性がある」こと、また「ひとつの機能を評価した場合、それ以外の機能が無視される傾向がある」ことなどに注意する必要があるとしています。

### (3) 機能に応じた森林の取り扱い

県では、森林が有する主要な機能である水源かん養機能、山地災害防止機能、生活環境保全機能、保健文化機能、木材生産機能の5機能を考慮し、「水土保全林（水源かん養・山地災害防止機能の高度発揮を図る）」、「森林と人との共生林（生活環境・保健文化・機能の高度発揮を図る）」、「資源循環利用林（木材生産機能の高度発揮を図る）」の3つに区分し、目的に応じた森林整備を推進することになっています。



水土保全林



森林と人との共生林

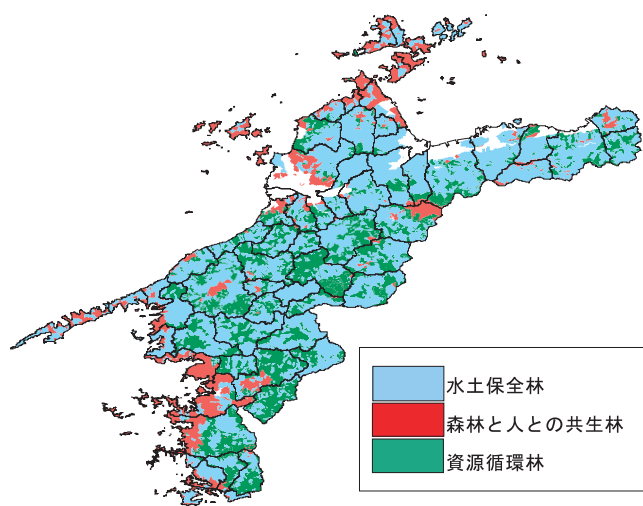


資源循環利用林



県内の森林を、このように分類すると、水土保持林が63%、森林と人との共生林12%、資源循環利用林が25%となり、水土保持林は「県内のほぼ全域」、森林と人との共生林は「人口集中地域の近郊、国立及び国定公園、県立自然公園の区域」、資源循環利用林は「中南予の人工林として管理している区域」に多く分布しています。

## 愛媛の森林整備方向



(資料：県業務資料)

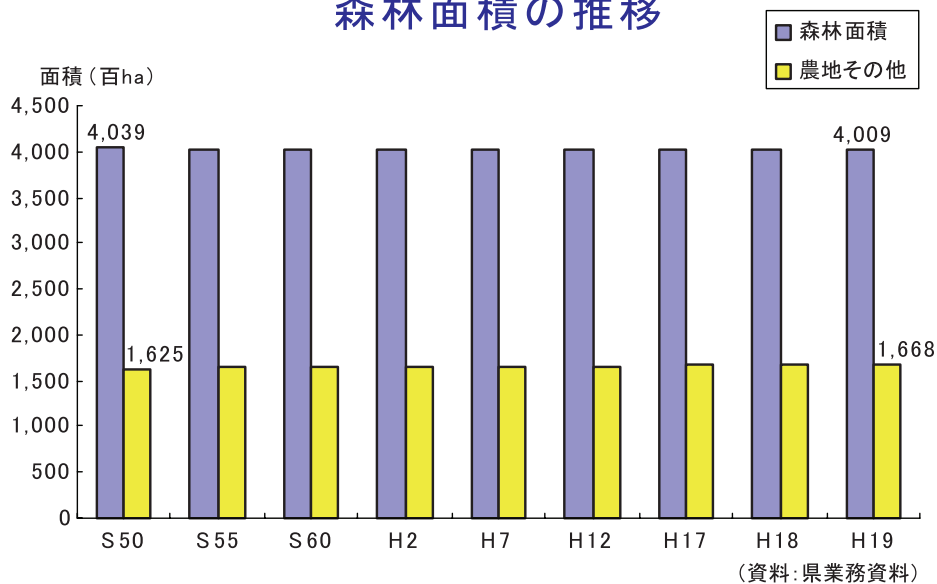
## 2 愛媛の森林の現状

### (1) 愛媛の森林の特徴

愛媛の森林面積は、平成19年度末現在、県総土地面積567,738haの71%に当たる400,904haとなっており、うち民有林面積の占める割合が90%、残り10%を国有林が占めています。民有林における人工林率は、戦後の積極的な植林によって62% (222,378ha) となっており、その内訳はスギ48% (107,170ha)、ヒノキ49% (108,420ha)、マツその他3% (6,788ha) となっています。

また、県内の森林から伐り出されている素材の生産量は、平成19年度末現在で53万7千 $m^3$ で全国第10位(スギ・ヒノキなどの針葉樹材に限れば53万3千 $m^3$ で全国第8位)で、四国では森林面積が愛媛よりも広い高知県を10万 $m^3$ 超上回り、四国1位の生産量となっています。

### 森林面積の推移



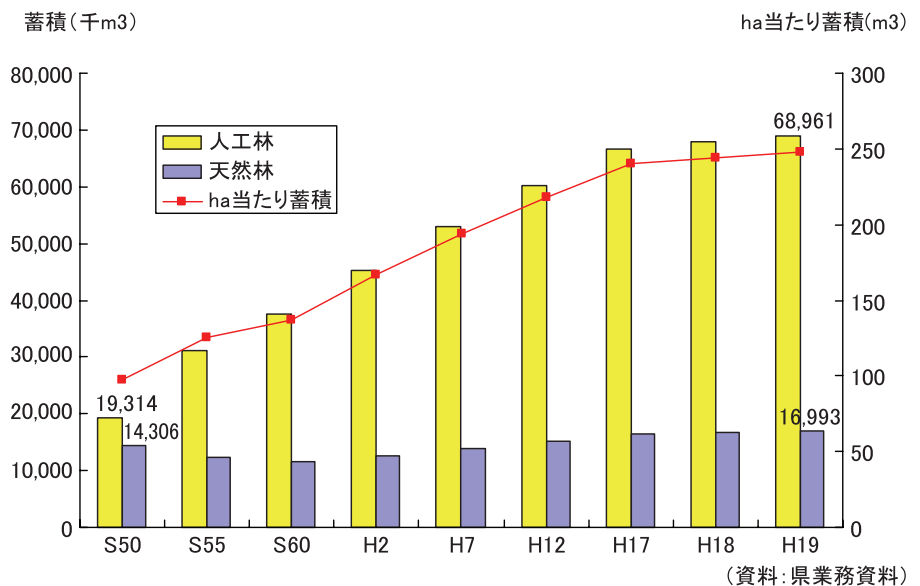
### (2) 愛媛の森林の変遷

次に時系列で愛媛の森林の概要を見ると、平成19年の森林面積は昭和50年の403,900haと比べると約3,000ha減少していますが、森林の蓄積(立木の体積)は、昭和50年の約34万 $m^3$ に対して32年後の平成19年には86万 $m^3$ 、2.5倍に増加しています。このうち、天然林の蓄積が横ばいで1.2倍にしかなっていないのに対して、人工林は植林による面積の増加、下刈や間伐などの保育作業の実施による植栽木の成長に伴い蓄積は3.6倍に増加しています。

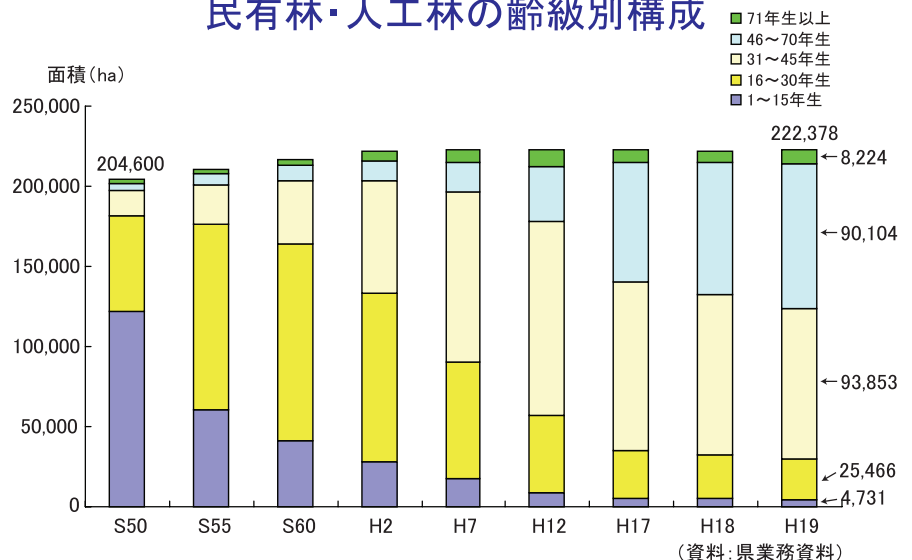
この人工林の年齢構成を年齢別に見ると、昭和35年前後に植えられた46年～50年生の森林が最も多く43,960ha、また、除伐や間伐が必要な16年～45年生の森林が人工林面積の54% (119,319ha) を占めています。

しかし、人工造林が急速に進展し始めたのは、第二次大戦中の昭和10年代後半からであり、戦争資材確保のための緊急伐採に加え、戦後の住宅や道路、鉄道などの復興用の木材や熱エネルギー供給のための薪や木炭の原料としての木材の伐採などによる荒廃した森林の復旧に始まったもので、国土の保全、経済の再建・復興などその時代における国の政策などに応える形で造成されてきました。このことは、人工造林の樹種が、成長が早く主に建築用材として使われるスギ、ヒノキがほとんどであることからもうかがい知ることができます。

## 民有林の蓄積



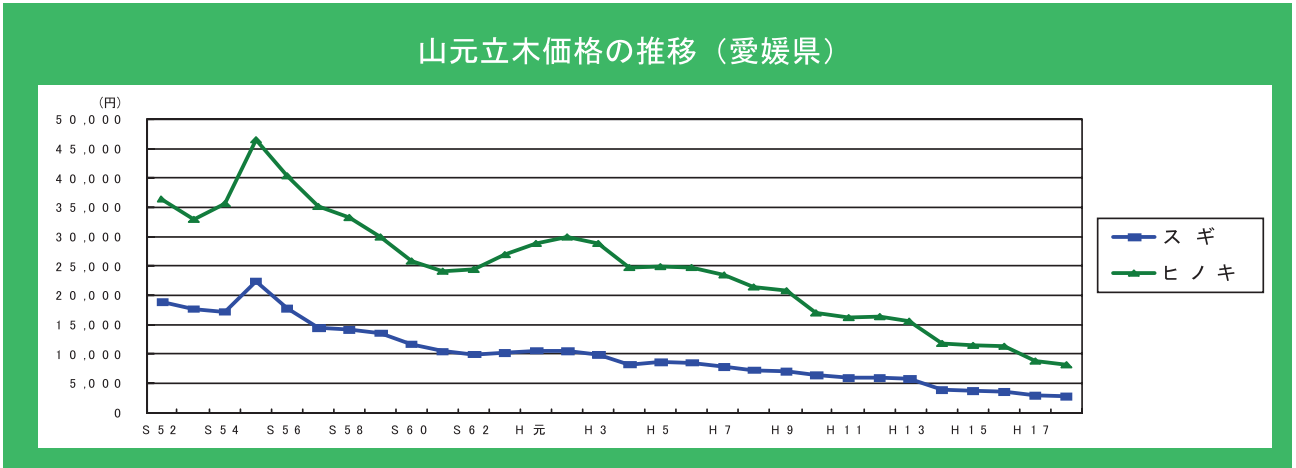
## 民有林・人工林の年齢別構成



### (3) 森林・林業を取り巻く状況

人工林の拡大は、昭和30年代における豊富な農山村の労働力等に支えられ、全国的な広がりを見せましたが、高度経済成長を担う急激な木材需要に応じるには若齢であり、利用可能な人工林が少なかったことなどから、外国産材の輸入が行われるようになり、今日では約8割を外国産材に頼らざるを得ない状況になっています。また、農山村から都会への人口流出、更には木材を代替する建築資材の台頭や生活様式の変化に伴う住宅の洋風化などの社会的要因により、間伐を行っても、その伐採された木材は売れない状況となってきています。このような理由から、造成された人工林も次第に管理不足や放置されるようになってきており、人工林は今、活力を失いつつあります。

これらの森林を守ってきた林家の林業経営状況等を見ると、県内の山元立木価格は、スギ・ヒノキともにピーク時だった昭和55年以降ずっと下落しており、1m<sup>3</sup> (柱に加工される長さ3mの丸太では20本程度) 当たりの立木価格は平成18年でスギ約2,800円、ヒノキ約8,200円程度と、昭和50年のスギ約20,500円、ヒノキ約36,700円に比べてそれぞれ13%、22%にまで下落しています。昭和50



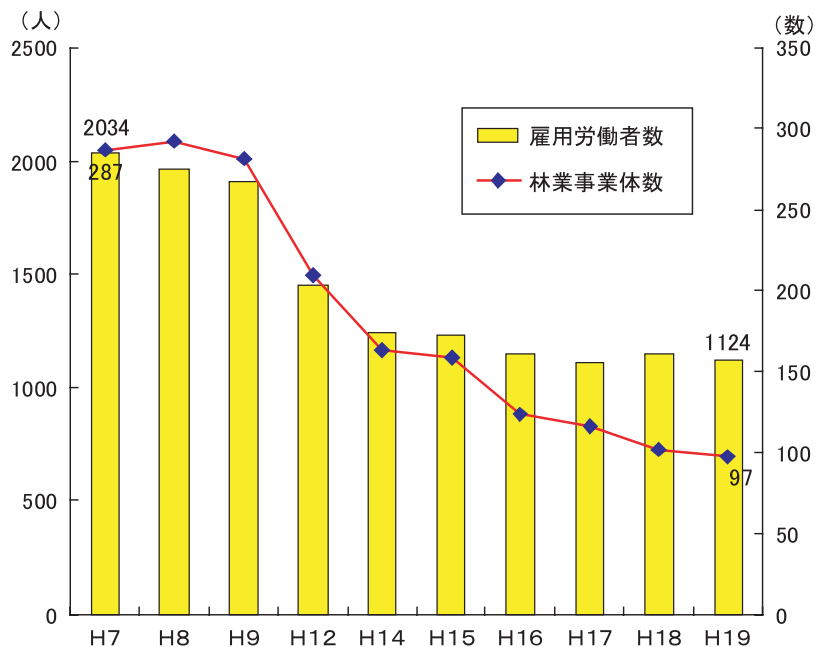
(資料:財)日本不動産研究会

年当時の物価水準を考えると価格の低下は著しいものと言わざるを得ません。また全国ベースでの林家の林業所得においても平成13年度は年間約21万円まで下落しております。なお、この調査対象林家は山林所有規模が20ha以上500ha未満の林家であり、20ha未満の小規模林家が約95%を占める本県の林家においては、さらに厳しい経営状態となっています。

一方、林家と共に林業の担い手である県内の林業事業体（森林組合・会社・第3セクター・個人）の数及び雇用労働者数は、平成7年には287事業体（1事業体当たり平均雇用労働者数7.1人）、2,034人（平均年齢56歳）が、

平成19年には97事業体（1事業体当たり平均雇用労働者数11.6人）、1,124人（平均年齢49歳）にまで減少しています。この結果は、森林所有者からの受託施業の団地化、集約化及び生産性を向上させる高性能林業機械の導入ができない一人親方などの個人、経営規模の小さな事業体では、下げ止まることのない木材価格や高齢化といった厳しい現状の中で、林業経営が成り立たなくなった実態を示しています。

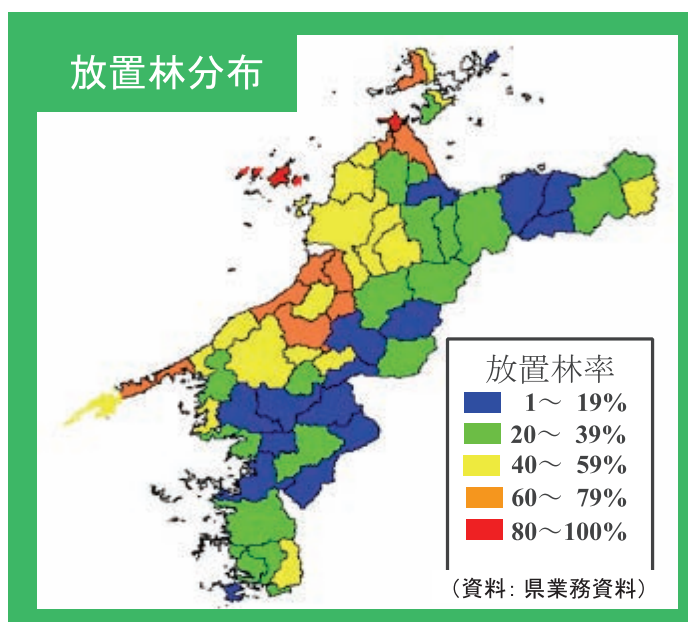
## 林業労働力の推移



(資料:県業務資料)

このような状況を反映して、平成12年度に県が行った放置された森林の実態調査によると、人工林（針葉樹）のうち約30%にあたる63,000haが、概ね10年間手入れされていないという結果となり、気象災害や病害虫の発生、表土の流出など森林の荒廃が懸念されています。この対策として、平成14年度から（財）愛媛の森林基金が事業主体となり、森林所有者に代わって間伐を行う「公的管理」による放置森林の整備を実施し、平成19年度末までに2,617haの人工林で間伐を行いました。

人工林を健全に維持していくために必要な間伐の実施面積の推移は、平成元年前後は約11,500ha実施されていましたが、平成12年度から16年度までの5年間実施した「緊急間伐5か年対策」の実施等によって毎年約9,000haが実施されました。その後平成17年度から19年度までの3年間では「間伐等推進3ヶ年対策」等により、年平均8,000haの間伐が実施されています。



#### (4) これからの森林・林業に必要なもの

これまで森林は、主として山村地域の人々と地域の仕組みによって、林業という形で維持されてきましたが、ここで見てきたように、限られた地域の力では、もはや大切な森林は守りきれなくなっています。これからは、県民全体が森林について理解し、それぞれのやり方で参加し、森林にかかわる活動を支援することが必要であると考えています。

森林作業に直接携わる「林業担い手」といわれる専門労働者を例に挙げてみると、毎年100人を確保しなければならないにもかかわらず、様々な補助事業を活用しても、60人を確保するのが精一杯の状態です。この大切な「担い手」についても、社会全体の理解と支持があれば、社会的地位や待遇が向上し、自らも働きがいを感じられるようになり、はじめて十分に確保できるようになっていくのではないのでしょうか。

### 3 森林環境税導入の必要性

これまで森林は、主として林業者や国、地方公共団体によって、世代を超えて、造成・維持・管理が行われてきましたが、県民や社会からの多様な要請や森林に対する深いかかわりへの期待がますます高まりつつあり、これまでの体制や方法では、県民のニーズに到底こたえきれなくなってきました。

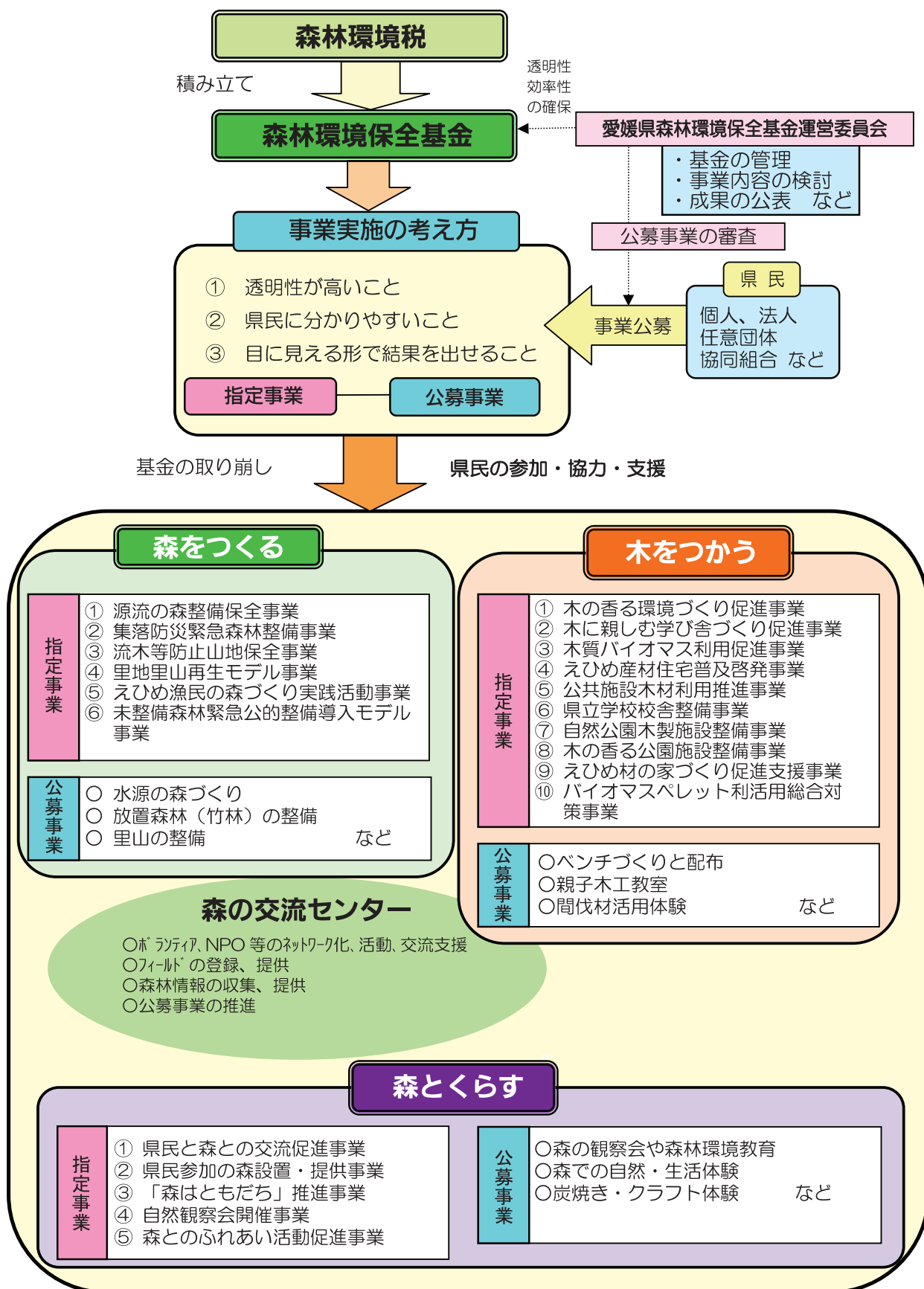
そこで、これまで県が進めてきた「森林そ生」の取り組みをさらに一歩進めて、

- すべての県民の参加によって
- 森林を守り、健全に育つことができるよう手助けをし
- その働きをすべての県民が理解し、かつ主体的に享受する

具体的で効果的な仕組みづくりを始めることが必要であることから、すべての県民に参加していただく、もっとも重要で効果的な第一ステップとして、税負担による直接参加をお願いし、これを前提として、「県民参加による森林共生文化の創造」のための活動の仕組みを構築していくことといたしました。

## II 森林環境税を活用した施策の仕組み(平成19年度)

— 森林環境の保全と森林と共生する文化の創造 —

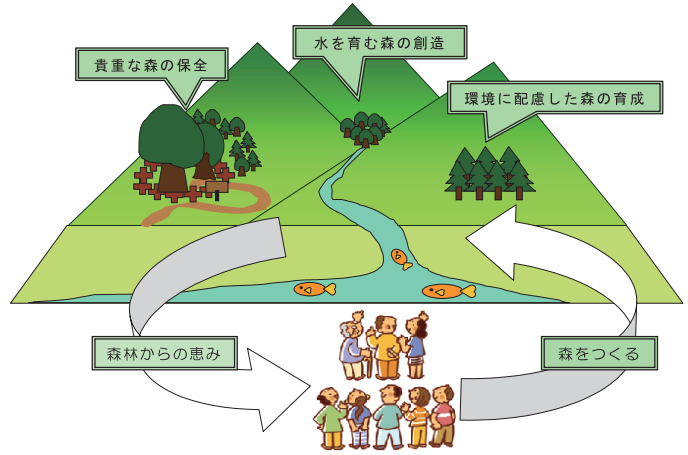




# 1 指定事業 ～県が用途を定め実施する方式～

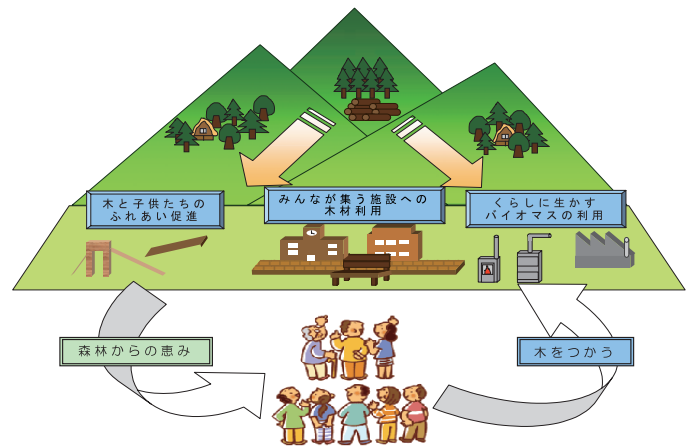
## (1) 《森をつくる活動》

県民に様々な恵みを与えている森林のうち、特に生活に欠くことのできない「水」を育む働きを持つ河川上流域の森林の自然力等を活かした整備や、集落周辺の森林の防災機能を高めるなど、森林所有者等自らが環境に配慮した、持続可能な森林管理や経営に取り組む活動を推進しています。



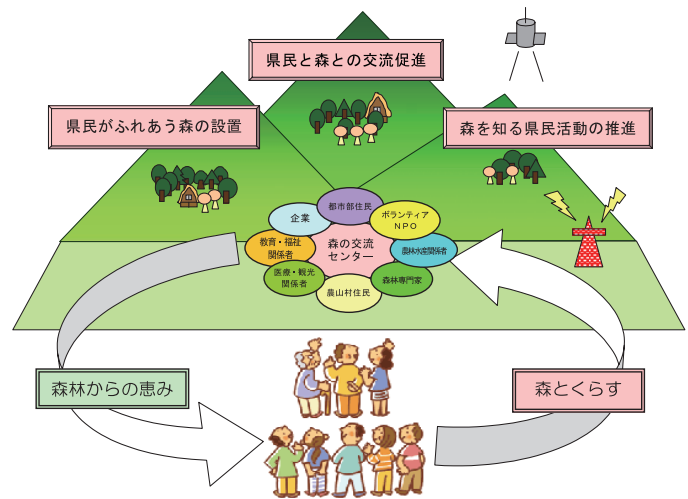
## (2) 《木をつかう活動》

再生産が可能な自然素材である木材を暮らしの中につかうことは、日常生活を豊かにし、県民の健康、生活環境を改善するだけでなく、森林環境の改善、地球温暖化の防止や環境に負荷の少ない循環型社会の実現にも貢献するものであることから、県民が集い交流する公共的な施設やその周辺施設での木材の利用を推進するとともに、保育所、幼稚園、小学校、福祉施設などに木製遊具を設置し、子供たちの木とのふれあいを促進しています。



## (3) 《森とくらす活動》

森林と出会い、森林とふれあい、そして森林に親しみながら森林を知り、様々な地域に存在する多様な森林を育てていくことにより、県民が森林とかかわりを持ち、暮らしの中により身近に森林を感じ、森林を愛する森林との共生関係を推進しています。



# 2 公募事業 ～県民から取組を公募し実施する方式～

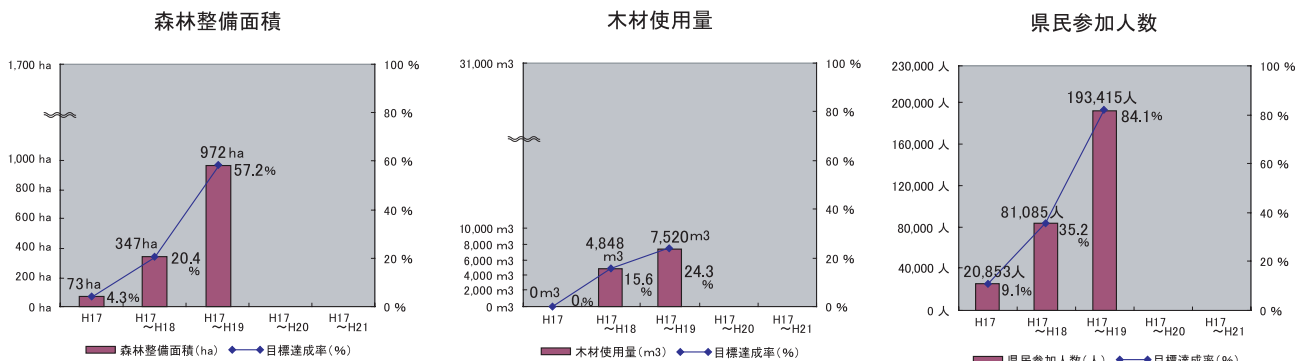
今後の森林環境整備には、県民の積極的な参加を仰がなければなりません、「森林環境税を納税する」ことによる「参加」とどまらず、「森林環境税を活用して県民自身が、その用途を企画・立案し、実行する」ことにより、「森林と共生する文化」を創造していただくというもので、平成17年度は42件、平成18年度は69件、平成19年度は71件の活動が行われました。

### Ⅲ 森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値 (H17~H21年度の5ヶ年間)

事業成果については、県民の皆さんにわかりやすいよう、目に見える形で公表することとしており、以下のような指標と目標値を設定しました。

<b>森をつくる活動</b>	緊急に整備の必要な森林を限定して、集中的に森林の機能回復を目指す事業で、植栽、除間伐及び林内整理等を実施する面積	<b>森林整備面積</b> <u>1,700ha</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 森林整備面積 1,700ha                  県内の年間間伐実施面積 (16年度8,484ha)の2割程度             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 木材使用量 3万1千m<sup>3</sup>                  年間に生産される木材46万3千m<sup>3</sup>の7%程度             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 森と交流する人数 78,000人             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 県民参加人数 23万人                  県民(149万人)の15%程度             </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">                 拡大・定着             </div>
<b>木をつかう活動</b>	県民に対して、木材利用の意義、安定的な供給、多様な用途などを普及することを目的とした事業で、公共的施設の木質化された内装にふれあう人数と有効利用される木材の量	<b>木とふれあう人数</b> <u>112,000人</u> <b>木材使用量</b> <u>31,000m<sup>3</sup></u>	
<b>森とくらす活動</b>	県民を森へ誘導し、県民総ぐるみでの森林整備の支援を目指した事業で、森の交流センターを中心として森と交流する人数	<b>森と交流する人数</b> <u>78,000人</u>	
<b>公募事業</b>	県民からの施策の提案を受けるとともに、県民自らが企画、立案、実行する活動を支援する事業で、森林づくり等の活動に参加する人数	<b>公募事業に参加する人数</b> <u>40,000人</u>	

#### (事業実施状況)



# IV 平成19年度事業実績

## 1 事業総括表

○基金繰入額 399,217,420円

積立金	内 容	内 訳	予 算 額	決 算 額	差 引 額
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	①森林環境保全基金積立金	403,508,000円	399,217,420円	4,290,580円

## ○歳出額

事業名	内 容	事 項 名	予 算 額	決 算 額	差 引 額
県	森をつくる活動		146,482,000円	136,743,605円	9,738,395円
		①源流の森整備保全事業費 奥地の人工林を針広混交林化	82,282,000円	77,481,000円	4,801,000円
		②集落防災緊急森林整備事業費 防災機能を重視した集落周辺の森林整備	43,599,000円	40,515,170円	3,083,830円
		③流木等防止山地保全事業費 ダム工等に異常堆積した立木等の除去と森林整備	14,000,000円	13,540,000円	460,000円
		④里地里山再生モデル事業費（農政課） 山林と農用地の境界域にある耕作放棄地及び周辺森林の整備	3,260,000円	2,635,633円	624,367円
		⑤えひめ漁民の森づくり実践活動事業費（漁政課） 業者が中心となり豊かな「漁民の森」づくり活動の実施	2,831,000円	2,072,802円	758,198円
		⑥未整備森林緊急公的整備導入モデル事業費 放置されている森林を「美しい森林」へ誘導するための事業費	510,000円	499,000円	11,000円
指定事業	木をつかう活動		103,403,000円	70,687,605円	32,715,395円
		①木の香る環境づくり促進事業費 公共施設の内装木質化や外構木製化の推進	6,512,000円	4,653,000円	1,859,000円
		②木に親しむ学び舎づくり促進事業費 幼少年教育施設への木製遊具や机等の設置	1,965,000円	1,375,000円	590,000円
		③木質バイオマス利用促進事業費 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	7,850,000円	413,544円	7,436,456円
		④えひめ産材住宅普及啓発事業費 えひめ産材を使用した展示住宅建設への助成	3,289,000円	3,183,000円	106,000円
		⑤公共施設木材利用推進事業費 地域のシンボルとなる公共施設の木造化	40,848,000円	20,836,000円	20,012,000円
		⑥県立学校校舎整備事業費（高校教育課） 県立学校校舎の内装木質化	16,000,000円	16,000,000円	0円
		⑦自然公園木製施設整備事業費（自然保護課） 自然公園に木材を利用して、標識、木柵、階段など整備	12,860,000円	11,861,061円	998,939円
		⑧木の香る公園施設整備費（都市整備課） 都市公園に休憩所やベンチなどを整備	1,850,000円	1,850,000円	0円
		⑨えひめ材の家づくり促進支援事業費 民間住宅に良質な柱材を無償提供し木造住宅の建設を促進	9,062,000円	7,524,000円	1,538,000円
⑩バイオマスペレット活用総合対策事業費 （農産園芸課及び畜産課） 地域に散在する未利用バイオマスをペレット化	3,167,000円	2,992,000円	175,000円		
業	森とくらす活動		53,486,000円	48,614,635円	4,871,365円
		①県民と森との交流促進事業費 県民と森との交流促進	8,114,000円	5,943,702円	2,170,298円
		②県民参加の森設置・提供事業費 県民活動の拠点整備	34,095,000円	33,740,000円	355,000円
		③「森はともだち」推進事業費（義務教育課） 小中学生に対する森林環境教育の推進	3,150,000円	3,150,000円	0円
		④自然観察会開催事業費（自然保護課） 一般県民を対象とした自然観察会を開催	1,900,000円	1,014,933円	885,067円
⑤森とのふれあい活動促進事業費 森づくりを行う青少年や県民の活動を支援	6,227,000円	4,766,000円	1,461,000円		
公募事業	県民参加の森づくり公募事業		30,000,000円	28,909,000円	1,091,000円
		①県民参加の森づくり公募事業費	30,000,000円	28,909,000円	1,091,000円

○計 333,371,000円 284,954,845円 48,416,155円

○保留額 70,137,000円 114,262,575円

保留額については、20年度以降の事業の計画的な実施と県民の皆さんの意見を反映しながら、取り組むことがより効果的なものについて活用していきます。

## 2 事業別実績

### (1) 県指定事業

## 森をつくる活動



### ①源流の森整備保全事業

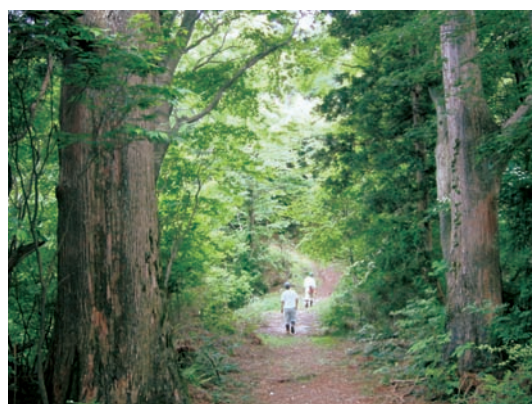
河川の源流域（奥地）に愛媛県の水源地の森のシンボルとなる「源流の森」を整備し、当該エリア内の森林所有者と非皆伐施業協定を締結する等、県民の協力のもと自然力を最大限に生かした森林へと誘導します。

#### 1 ポイント

水は生命の根源であり、県民の生活に欠くことができない貴重な資源であるため、それを育む働きを持つ河川の源に位置する森林は、県民共有の貴重な財産として、今後も守り残していく必要があります。

一方、県下の主要河川の源流域の現状は、国有林の一部に原始的な森林が現存するものの、民有林部分にある河川上流域の森林は、人手によって植林されたものが大部分を占め、そのほとんどが立地条件不利な奥地にあるため整備されず荒廃しつつあります。

このため、強度間伐による天然力を活かし人手のかからない針広混交林の造成や広葉樹植栽による樹種転換等を実施し、健全な森に回復させ、将来にわたり水源かん養機能の高い豊かな森へと誘導していきます。



#### 2 平成19年度実績

(1) 実績額 77,481千円（事務費265千円含む）

(2) 実施内容

実施場所	事業主体	事業内容	事業費	委託先
加茂川源流	県	間伐 25.13ha 整理伐 6.92ha 森林管理作業道 6,426m	17,325千円	新居森林組合 代表理事組合長 伊藤 浩
河の子川源流		間伐 72.16ha 森林管理作業道 8,246m	35,700千円	久万広域森林組合 代表理事組合長 大野 護
岩瀬川源流		間伐 50.89ha 森林管理作業道 9,067m	24,191千円	西予市森林組合 代表理事組合長 山口 亭
計		間伐 148.18ha 整理伐 6.92ha 森林管理作業道 23,739m	77,216千円	

(3) 実施状況

加茂川源流（西条市）

河の子川源流（久万高原町）

岩瀬川源流（西予市）



3 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	協定面積 (ha)	—	330	230	220	220	1,000
	施業面積 (ha)	—	112	163	125	115	515
	事業費 (千円)	10,170	57,592	82,282	60,848	59,672	270,564
実 績	施業面積 (ha)	調査委託	101	155			256
	事業費 (千円)	9,612	48,922	77,481			136,015
	実施箇所	加茂川源流（西条市）、河の子川源流（久万高原町）、岩瀬川源流（西予市）の3源流		同左	同左		

## ②集落防災緊急森林整備事業

集落周辺の森林の防災機能を高めるため、従来型の間伐に加え、根がよく張り地盤をしっかりと抑える優れた樹木の育成や、下層植生を導入するなど土砂崩壊防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

### 1 ポイント

平成16年の、例を見ない台風災害等に対応することから、土砂崩壊防止機能の高い森林を造成するため、県が判定する「山地災害危険地区」のうち、人家に直接災害を与える恐れのある危険度の高い未整備の森林を、各市町の地域防災計画に位置づけ、森林所有者の協力のもと、防災意識が高い地区を対象に、3ヶ年間で緊急に森林整備するものです。

※ 県が判定する「山地災害危険地区」

山地において、山腹崩壊や土石流等が発生する恐れのある地区を、勾配や地質の特性等の因子に基づいて整理しており、山腹崩壊危険地区・崩壊土砂流出危険地区・地すべり危険地区があります。



### 2 事業内容及び採択要件等

山地災害危険地区のうち、山腹崩壊危険地区で、市町の地域の防災計画に登載している箇所事業を実施します。(施業後直ちに皆伐することがないよう、非皆伐施業協定の締結が必要です。)

事業名	事業主体	事業内容	採択要件	補助率
機能増進間伐①	市町	強度間伐 簡易木柵工（林内整理）	国庫補助造林補助 事業採択箇所	ha当たり158千円の定 額県費補助
機能増進間伐②		強度間伐 簡易木柵工（林内整理）	国庫補助造林補助 事業採択外箇所	ha当たり204千円の定 額県費補助
風倒木処理		風倒木の除去・整理	集団的な風倒木 被害跡地	ha当たり162千円の定 額県費補助
市町附帯事務費		防災の普及啓発 事業実施箇所の選定 交付申請等に要する経費	各市町内で実施す る事業費総計の5 %以内	事業費の1/2県費補助

※ 機能増進間伐

林内の光環境を改善し下層植生の繁茂を促し、土砂流出防止機能などの防災機能を高めるため、通常よりも強度に立木を伐採する間伐を言います。

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 40,515千円

(2) 実施状況

西条市

今治市

大洲市



### 4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	森林整備 面積	151ha	217ha	250ha	—	—	618ha
	事業費	29,081千円	42,028千円	43,599千円	—	—	114,708千円
実 績	森林整備 面積	73ha	166ha	208ha	—	—	447ha
	事業費	14,726千円	32,716千円	40,515千円	—	—	87,957千円
	実施箇所	8市町（四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、久万高原町、内子町、宇和島市、愛南町）	11市町（四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、松山市、久万高原町、八幡浜市、大洲市、宇和島市、鬼北町、愛南町）	8市町（四国中央市、西条市、今治市、松山市、久万高原町、大洲市、宇和島市、鬼北町）	—	—	

### ③流木等防止山地保全事業

台風豪雨による流木等の被害を防止するため、集落後背部の河川や溪流を対象に、これまでの治山事業と併せて、ダム工等に異常堆積している流木等の除去や森林整備等を行います。

#### 1 ポイント

台風豪雨等により荒廃のおそれのある河川及び溪流に異常堆積した流木や土砂等が、今後の降雨等で流出し、河川を閉塞させる等の恐れのある箇所について、当該堆積物を除去し、河道を確保するとともに、当該河川沿いの溪岸林及び周辺森林の整備を図り、土木部の災害復旧整備（砂防整備、河川整備等）と併せて集中的かつ総合的な県土の保全を推進します。

#### 2 事業内容

<p>(1) 溪岸林整備区間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本数調整伐（間伐率50～70%）</li> <li>・深根性樹種の植栽</li> <li>・伐倒木の除去</li> <li>・流木、堆積土砂等の除去 流木及び堆積土砂の搬出、運搬及び処理</li> </ul>	<p><b>【実施場所】</b> 民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p><b>【事業主体】</b> 市町</p> <p><b>【補助率】</b> 1/2</p> <p><b>【採択要件】</b> 天然現象で荒廃又は荒廃の兆しのある河川及び溪流に異常堆積した流木・土砂等が、次期降雨等で直下の河川等へ流出し閉塞する等して、下流域の人家等に直接被害を及ぼす森林又は及ぼすおそれのある森林（保安林以外の森林）のうち、次の各号の全てに該当する箇所で、1箇所の工事費（年間計画額）が400万円以上であること。</p> <p>① 各市町が、該当市町の地域防災計画に明記した山地災害危険地区の森林を対象として、当該事業整備計画を作成すること。</p> <p>② 整備計画箇所から下流1km以内に、人家2戸以上又は弱者関連施設等の公共建築物があること。</p>
<p>(2) 周辺森林</p> <p>①周辺森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本数調整伐（間伐率30～50%）</li> <li>・木柵工等による土砂移動防止</li> </ul> <p>②小崩壊地の早期緑化復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木の除去</li> <li>・深根性樹種の植栽</li> <li>・木柵工等による土砂移動防止</li> </ul>	

#### 3 平成19年度実績

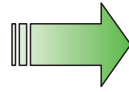
(1) 実績額 13,540千円（事務費240千円含む）

(2) 実施内容

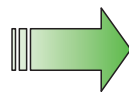
実施主体	施行箇所	面積	事業費	左のうち県費
西条市	大保木里山	8.3ha	15,600千円	7,800千円
〃	小松町湯浪	4.6ha	7,000千円	3,500千円
久万高原町	下畑野川	0.2ha	4,000千円	2,000千円
計	3箇所	13.1ha	26,600千円	13,300千円



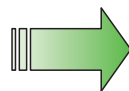
(3) 実施状況



河川内に倒木した林木を利用した木柵工を整備した状況（西条市大保木里山）



河川内に倒木した林木除去及び溪岸部の森林を整備した状況（西条市小松町湯浪）



河川内に倒木した林木除去及び溪岸部の森林を整備した状況（久万高原町下畑野川）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	森林整備 面積	—	30ha	30ha	—	—	60ha
	事業費	—	19,350千円	14,000千円	—	—	33,350千円
実 績	森林整備 面積	—	4ha	13ha	—	—	17ha
	事業費	—	18,860千円	13,540千円	—	—	32,400千円
績	実施箇所	—	4箇所（四国 中央市(1)、 西条市(2)、 久万高原町 (1)）	3箇所（西条 市(2)、久万 高原町(1)）	—	—	

## ④里地里山再生モデル事業（一部森林環境税事業）

高齢化や過疎化により里地里山の荒廃や農用地の耕作放棄が進む中山間地域において、放牧牛の除草機能（舌草刈）を利用した「里地里山の環境整備」を行うとともに、周辺森林の除間伐等による「豊かな森づくり」や「農地の再生」を通じて、小学生等の食農教育や森林環境教育の学習の場として、えひめのモデル的里地里山の整備を行い、里地里山の再生と中山間地域の活性化を図ります。

### 1 ポイント

荒廃した里地里山等の保全、再活性化を図り、森林環境の保全と中山間地域の農用地等の確保・活性化を進めるため、山林と農用地の境界域にある耕作放棄地及び周辺森林において、放牧牛の除草機能を活用した「里地里山の環境整備」、「豊かな森づくり」、「農地の再生」、「里地里山学習」を組み合わせた愛媛型の『里地里山再生モデル事業』を展開します。

### 2 平成19年度の実績額

5,966千円（うち、森林環境税2,636千円充当）

### 3 実施期間

平成18年度～平成19年度

### 4 平成19年度の事業実施内容

事業区分	事業実施主体	事業内容	実施地区及び除間伐実施面積
里地里山の環境整備	愛媛県	耕作放棄地等へ牛を放牧し、放牧牛の除草機能を活用し除草活動を実施。	愛南地区 (愛南町平地地区) 除間伐：1.4ha
豊かな森づくり		周辺森林の除間伐、植樹等による森林整備を実施。	大洲地区 (大洲市平野地区) 除間伐：2.0ha
農地の再生		耕作放棄地の畦畔、水路、里道の再生、景観作物などの植え付けを実施。	久万高原地区 (久万高原町日野浦地区) 除間伐：1.3ha
里地里山学習		小学生等の現地学習会等を実施。	作業道開設：120m

### 5 里地里山再生モデル事業実施状況

愛南モデル地区



大洲モデル地区



久万高原モデル地区



① 里地里山の環境整備 (牛の舌草刈りによる除草効果：愛南モデル地区)

(放牧当日)



(放牧開始32日目)



(放牧開始81日目)



② 豊かな森づくり  
愛南モデル地区



大洲モデル地区



久万高原モデル地区



③ 農地の再生  
愛南モデル地区 (水路整備)



畑として利用



④ 里地里山学習  
久万モデル地区H19.8.6



大洲モデル地区H19.7.3



愛南モデル地区H19.11.2



6 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	箇所数	—	3箇所	3箇所	—	—	3箇所
	事業費 (千円)	—	9,980	6,910	—	—	16,890
	うち森林環境税	—	4,690	3,260	—	—	7,950
実 績	放牧牛による除草・ 農地再生 (ha)	—	3.9	4.4	—	—	8.3
	間伐 (ha)	—	2.6	4.7	—	—	7.3
	学習会 (回)	—	3 (1回×3地区)	3 (1回×3地区)	—	—	3 (1回×3地区)
績	事業費 (千円)	—	9,428	5,966	—	—	15,394
	うち森林環境税	—	4,303	2,636	—	—	6,939
	実施箇所	—	3箇所(久万高原町、 大洲市、愛南町)	3箇所(久万高原町、 大洲市、愛南町)	—	—	

## ⑤えひめ漁民の森づくり実践活動事業（H19新規）

漁業者が中心となり、森林関係者や市町と連携を図りながら、豊かな海を育む「漁民の森」づくり活動を実施するとともに、水産関係の市場や加工流通業者、一般県民に対して、漁民が森づくり活動を行う趣旨を普及啓発し、県民参加型の漁民の森づくり活動の定着促進を図ります。

### 1 ポイント

漁業者の間に、森、川、海を一体的に捉え、水の源である森林の創造や保全が、将来漁場環境の保全等に繋がるとの認識が定着しつつあり、森づくり活動を継続的に実施する機運が高まっており、今後とも漁業者が主体となって、森林関係者や市町と連携を図りながら、豊かな海を育む「漁民の森」づくり活動を継続して実施する。

また、水産関係の市場や加工流通業者、一般県民に対して、漁民が森づくり活動を行う趣旨を普及啓発し、県民の森林への関心や保全の意識の向上を図ることにより、県民参加型の漁民の森づくり活動の定着促進を図る。

### 2 事業内容

○ えひめ漁民の森づくり推進協議会の開催

漁民の森づくり活動を計画的に、適切かつ安全に推進できるよう、実施計画や植林、育林、保全の体制づくり、実績の評価等について協議・検討するとともに、実践主体を指導する。

○ えひめ漁民の森づくり活動

<b>実施箇所</b>	毎年2地区（平成19年度：西条地区、今治地区）
<b>漁民の森づくり連絡会議</b>	地域の水産関係者、森林関係者、市町等を構成員とし、漁民の森づくり活動の実施体制や実施箇所、日程等の計画について協議する。
<b>活動実践主体名</b>	西条地区漁民の森づくり連絡会議、今治地区漁民の森づくり連絡会議
<b>構 成 員</b>	地元の漁協、漁協青年協、漁協女性部、森林組合、市町等 約10名
<b>漁民の森づくり活動（1地区当たり）</b>	クヌギ・コナラなどの広葉樹の植林活動を行う。
<b>実 施 箇 所</b>	西条市加茂川流域0.5ヘクタール、今治市蒼社川流域0.5ヘクタール
<b>内 容</b>	活動の説明、作業指導、植林（約1,000本）、育林
<b>参 集 者</b>	地区漁業関係者、地元水産関係者（市場、流通加工関係）、地区森林関係者、市民ボランティア等 各約100名
<b>補 助 額</b>	1,278千円（標準事業費1,556千円のうち1,000千円までを全額、1,000千円を超える額の1/2を補助し、補助の上限額を1,278千円とする）

○ 漁民の森づくり活動定着促進指導

森の維持管理方法を地元漁業者に習得させるため、育林の必要性の講義や下草刈り等の実習を行う育林講習会の開催等を行う。

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 2,073千円

(2) 実施状況

漁民の森づくり（西条地区）



育林講習会（西条地区）



漁民の森づくり（今治地区）



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	森づくり面積ha（箇所）	—	—	1 (2)	1 (2)	1 (2)	3 (6)
	事業費（千円）	—	—	2,831	2,831	2,831	8,493
実績	森づくり面積ha（箇所）	—	—	2 (2)			2 (2)
	事業費（千円）	—	—	2,073			2,073
実績	事業実施箇所	—	—	2箇所 ①西条市加茂川流域 ②今治市蒼社川流域			

## ⑥未整備森林緊急公的整備導入モデル事業（H19新規・一部森林環境税事業）

森林所有者による自主的整備が進まず放置されている森林を「美しい森林」へ誘導するため、森林組合等事業体が森林所有者に代わって森林の整備を行うのに要する事務費を負担します。

### 1 ポイント

国産材価格の低迷や、森林所有者の不在村化、高齢化等により、森林所有者による間伐等が行われずに整備遅れとなっている森林が増えており、森林の持つ多面的機能の発揮が危惧されている。

このため、森林所有者による自主的な整備が進まずに放置されている森林について、森林組合等の事業主体が森林所有者の割り出し、同意の取り付けを行ったうえで、森林所有者に代わって間伐等の施業を実施することで未整備森林の解消を図るものである。

### 2 事業内容及び採択要件等

事業種	事業内容	採択要件
森林整備	①施業の実施 除間伐等 作業道の開設 ②関連条件整備 対象森林の調査 森林所有者の確認 境界確定等	・1施行面積0.1ha以上 ・事業主体と森林所有者との非皆伐施業の協定 ・間伐率は本数率で30%以上 ・対象森林は間伐等の実施が必要な過密な林分

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 59,748千円（うち、森林環境税499千円充当）

(2) 実施内容

実施主体	実施箇所	事業量 (ha)	補助金額 (千円)	備考
宇摩森林組合	四国中央市	26	6,500	
伊予森林組合	伊予市	22	5,000	
砥部町森林組合	砥部町	10	2,500	
久万広域森林組合	久万高原町	26	6,500	
八西森林組合	八幡浜市	10	2,500	
大洲市森林組合	大洲市	52	13,000	
南予森林組合	松野町	14	3,000	
南宇和森林組合	愛南町	39	9,750	
愛媛県	宇和島市外	43	10,000	
事務費			998	左うち森林環境税499千円
計		242	59,748	

(3) 実施状況

砥部町

松野町

愛南町



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	施業面積 (ha)	—	—	240	365	—	605
	補助金額 (千円)	—	—	61,020	92,801	—	153,821
	うち森林環境税	—	—	510	776	—	1,286
実 績	施業面積 (ha)	—	—	242		—	242
	補助金額 (千円)	—	—	59,748		—	59,748
	うち森林環境税	—	—	499		—	499
実施箇所	—	—	11市町 (四国中央市、今治市、松山市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、宇和島市、松野町、愛南町)			—	



## ①木の香る環境づくり促進事業

公共的施設等を対象に、地域材を利用した内装の木質化及び外構への木製品導入等に対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材に対する理解を深めるとともに、木材利用の意義を啓発します。

### 1 ポイント

公共的施設等に、地域材を利用した内装の木質化及び外構への木製品導入を行うことにより、木材の特性を生かした街づくりと森林の整備、次世代への継承を促し、循環型社会の実現を目指すものです。

### 2 採択要件等

補助対象	市町の公共施設、学校施設、福祉施設、病院施設、交通施設（鉄道、空港、港湾等）等で公共性が高いと認められる施設
補助対象事業主体	市町・学校法人・社会福祉法人等
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋コンクリート構造等の公共的施設の内装等（床・壁・天井等）に地域材を使用した場合の木工事経費（部材代＋施工代）に対して助成。 補助率1/2以内 限度額 8,000千円/施設</li> <li>公共的施設の外構に地域材を使用した木製品（ベンチ・デッキ・木レンガ舗装等）を導入した場合の経費に対して助成。 補助率1/2以内 限度額 2,000千円/箇所 事業費が500千円に満たない場合は補助しない。</li> <li>地域材使用率100%の施工箇所に限る。</li> </ul>

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 4,653千円（事務費35千円含む）

(2) 実施内容

事業区分	事業主体	事業内容	補助金額
木質内装化支援事業	宇和島市	鶴島小学校 学習教室	633千円
	鬼北町	泉小学校 多目的室	650千円
木製外構整備支援事業	松山市	内新田公園 四阿・ベンチ	1,206千円
		河野公園 ベンチ	315千円
		東町浦公園 ベンチ	315千円
		正岡松尾公園 ベンチ	315千円
		児童養護施設親和園 木製遊具	722千円
	宇和島市	番城幼稚園 ウッドデッキ	462千円
計			4,618千円



(3) 実施状況



鶴島小学校（宇和島市）



泉小学校（鬼北町）



内新田公園（松山市）



番城幼稚園（宇和島市）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	10,980人	11,200人	11,420人	—	—	33,600人
	事業費	5,465千円	5,667千円	6,512千円	—	—	17,644千円
実績	ふれあう人数	4,522人	35,405人	31,668人	—	—	71,595人
	事業費	5,083千円	5,667千円	4,653千円	—	—	15,403千円
	実施箇所	木質内装化 国民宿舎古岩屋荘 (久万高原町) 木製外構整備 知的障害者更正 施設希望の森 (西予市) うわまち南保育園 (西予市) 久万高原町バス 待合室 (久万高原町)	木質内装化 国民宿舎古岩屋荘 (久万高原町) 久万高原町立病院 (久万高原町) 木製外構整備 玉川森林館 (今治市) 西須賀公園 (松山市)	木質内装化 鶴島小学校 (宇和島市) 泉小学校 (鬼北町) 木製外構整備 内新田公園 河野公園 東町浦公園 正岡松尾公園 児童養護施設親 和園 (松山市) 番城幼稚園 (宇和島市)			

## ②木に親しむ学び舎づくり促進事業

感受性豊かな幼児期・少年期において、人や環境に優しく、再生産可能な自然素材である木を使うことで、物の大切さなどの情緒教育を行うとともに、木材のよさの普及を行い、将来的な木材に対する理解を深めます。

### 1 ポイント

私たちはコンクリートや鉄、プラスチックといった無機質の物質に囲まれて生活していますが、再生産可能な自然素材である木を暮らしの中で使うことは、日常生活を豊かにし、人の健康、環境の改善や地球温暖化の防止に貢献するものです。

そこで、感受性豊かな幼児期・少年期において、人や環境に優しい木工品等を児童・生徒が自ら考え、作成したり、木製遊具や木製品を使用して、木の温もり、柔らかさに触れることで、物の大切さなどの情緒教育を行うとともに、木材のよさの普及を行い、将来的な木材に対する理解を深め、大量生産・大量消費の生活様式から脱し、環境に負荷の少ない循環型社会構築への意識啓発を行います。

### 2 採択要件等

- 木の机・椅子・屋外遊具

事業内容	幼稚園や小中学校、児童福祉施設等に新規導入する、木の机・椅子、屋外の大型遊具等に対する助成
対象施設	幼稚園や保育所、小中学校等の教育施設、児童館、児童福祉施設、公園等
補助対象経費及び補助率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域材を使用した木の机・椅子の整備にかかる経費 補助率 木質化に要する経費の1/2以内 限度額 11千円/組</li> <li>・ 地域材を使用した屋外用の大型木製遊具等の整備に対する補助 補助率 1/2以内 限度額 3,000千円/施設</li> </ul>
事業主体	市町（事業実施主体：市町及び市町以外の施設の所有者）

### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 1,375千円（事務費49千円含む）  
 (2) 実施内容

事業区分	事業主体	事業内容	補助金額
木の机等整備支援事業	鬼北町	泉小学校 机20組、椅子100組	1,100千円
学校関連施設木造化支援事業	愛南町	篠山小中学校 部室棟	226千円
計			1,326千円

(3) 実施状況



泉小学校（鬼北町）



篠山小中学校（愛南町）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	980人	1,660人	2,130人	—	—	4,770人
	事業費	6,600千円	6,743千円	1,965千円	—	—	15,308千円
実績	ふれあう人数	2,947人	2,227人	733人	—	—	5,907人
	補助金額	6,600千円	2,793千円	1,375千円	—	—	10,768千円
	実施箇所	木工教室 愛媛県林業研究グループ連絡協議会 (県下8箇所) 木の机等整備 久万小、美川小 (久万高原町) 木製屋外遊具整備 うわまち南保育園、 宇和保育園 (西予市) 南吉井小、川上小、 重信幼稚園、北吉 井幼稚園、川上幼 稚園、東谷幼稚園 (東温市)	木の机等整備 柳谷小、柳谷中、 面河小、面河中 (久万高原町) 木製屋外遊具整備 愛治小(鬼北町)	木の机等整備 泉小学校 (鬼北町) 学校関連施設木造 化支援 篠山小中学校 (愛南町)			

### ③木質バイオマス利用促進事業

災害に強い山づくりや二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化防止等を通じて、森林・林業が環境保全などに貢献するよう、未利用間伐材等、木質バイオマス資源の利用促進を図ります。

#### 1 ポイント

林内に放置されている低質材（著しい曲材、変色・腐り材、根元部、梢端部）を製紙用原料や化石燃料の代替として発電用燃料として供給するための支援を行い、木質バイオマスの利用促進による二酸化炭素の削減や災害に強い山づくりに貢献します。

#### 2 採択要件等

事業内容	えひめ森林そ生プロジェクト対象団地から搬出される低質材等1m <sup>3</sup> 当たり、炭素貯蔵効果額10,248円の製紙用原料歩留り40%の1/2を助成する。
補助対象	森林そ生推進団地から搬出し、製紙用原料や発電用燃料等に有効活用する低質材等、木質バイオマス資源
事業主体	愛媛県森林組合連合会
補助単価	10,248円×0.4×1/2=2,000円/m <sup>3</sup>
補助金額	184.772m <sup>3</sup> ×2,000円/m <sup>3</sup> = 370千円

#### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 413千円（事務費44千円含む）
- (2) 実施内容

補助対象材積	補助金額
185m <sup>3</sup>	369,544円

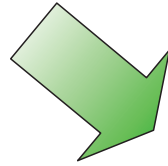
#### 4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	低質材の有効利用量(m <sup>3</sup> )	—	13,000m <sup>3</sup>	3,900m <sup>3</sup>	3,900m <sup>3</sup>	3,900m <sup>3</sup>	24,700m <sup>3</sup>
	事業費	—	26,000千円	7,850千円	7,850千円	7,850千円	49,550千円
実績	低質材の有効利用量(m <sup>3</sup> )	—	309m <sup>3</sup>	185m <sup>3</sup>			494m <sup>3</sup>
	事業費	—	617千円	413千円			1,030千円
	実施箇所	—	県内一円	県内一円			

5 事業イメージ



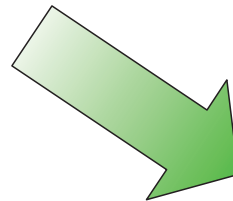
森林そ生推進団地内での低質材



愛媛県森林組合連合会買い取り



チップに加工



製紙会社



#### ④ えひめ産材住宅普及啓発事業

県産材を使用した展示住宅の建設を支援し、木材の最大の需要先である民間住宅に対して、県産材を使用した木造住宅の建設を促進することにより、県産材の需要拡大を通しての健全な森林整備を目指します。

### 1 ポイント

日本農林規格に合格し、品質・性能が保証され、かつ乾燥された地域材（以下、「えひめJAS材」という）を、別表1に掲げる主要部材等に使用して展示住宅を建築した場合、大工・工務店に対し、えひめJAS材の使用量に応じて補助金を交付します。

### 2 採択要件等

事業内容	日本農林規格に合格し、品質・性能が保証され、かつ乾燥された地域材を、主要部材等に使用して展示住宅を建築した場合、大工・工務店に対し、使用量に応じて補助金を交付する。
補助対象	次の条件をすべて満たす展示住宅 ①別表1に掲げる主要部材に、えひめJAS材を80%以上使用して建築する展示住宅 ②延床面積80㎡以上、かつえひめJAS材使用量が $0.15\text{m}^3/\text{m}^2$ 以上の展示住宅 ③図面等により木材の配置及び寸法が明示されている展示住宅 ④補助採択後、棟上げが行われ、2月までに完成する展示住宅 ⑤建設中及び事業完了後から3ヶ月間、県産材の普及啓発活動の協力を行うことのできる展示住宅
事業主体	県内に事務所をおく建築業者
補助金額	えひめJAS材を使用した材積 $1\text{m}^3$ 当たり27千円を交付する。 ただし、1棟当たり補助金の上限は60万円とする。

別表1

主要部材	在来工法	土台、大引、根太、通柱、管柱、間柱、桁、梁、筋交、小屋束、棟木、母屋、垂木
	桝組壁工法等	土台、床根太、端根太、側根太、まぐさ、天井根太、垂木、棟木、壁の上桝及び頭つなぎ、壁のたて桝、筋交い

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 3,183千円（事務費276千円含む。）

(2) 実施内容

所在地	施工業者名	施工業者住所	延床面積	えひめJAS材使用量	補助金額
西条市飯岡	白石木材商工株式会社	西条市喜多川209-1	101.1㎡	22.6622 $\text{m}^3$	594千円
今治市阿方	新日本建設株式会社	松山市針田町109-9	140.3㎡	28.5355 $\text{m}^3$	600千円
今治市阿方	重松建設株式会社	今治市常磐町4-7-6	121.7㎡	19.3549 $\text{m}^3$	513千円
大洲市柚木	菅野建設株式会社	大洲市田口甲30-2	151.6㎡	38.9456 $\text{m}^3$	600千円
宇和島泉町	有限会社丸万住宅	西予市宇和町野田400-6	186.0㎡	48.3143 $\text{m}^3$	600千円
計				157.8125 $\text{m}^3$	2,907千円

## (3) 実施状況

## 構造見学会の状況（大洲市内）



## 4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	訪問者数	—	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	12,000人
	事業費	—	3,368千円	3,289千円	6,621千円	6,764千円	20,042千円
実績	訪問者数	—	1,094人	557人			1,651人
	事業費	—	3,234千円	3,183千円			6,417千円
	実施箇所	—	①西条市（白石木材商工株式会社） ②西条市（新日本建設株式会社） ③内子町（ヤマキハウス株式会社） ④西条市（有限会社丸万住宅） ⑤宇和島市（古川建築グループ）	①西条市（白石木材商工株式会社） ②今治市（新日本建設株式会社） ③今治市（重松建設株式会社） ④大洲市（菅野建設株式会社） ⑤宇和島市（有限会社丸万住宅）			

## ⑤公共施設木材利用推進事業

公共施設の木造化を支援し、地域材の需要拡大を図っていきます。

### 1 ポイント

多くの県民が集い、地域のシンボルとなる公共施設を、地域の風土にふさわしい木材を使用して木造で建設し、木の香りのする環境の提供と、木のやわらかさ、ぬくもり等木材の良さの普及を図るとともに、木材の使用により資金を還元し、県民の共有財産である森林の整備を行います。

### 2 採択要件等

<b>補助対象</b>	幼稚園、保育所、小中学校、図書館、公民館、集会所、医療・福祉施設、野外活動施設等を新規に建設する経費（役場庁舎は除く）
<b>採択条件</b>	<p>①建築基準法第2条第5号に定める主要構造部が木造である建築物で、延床面積200㎡以上であるもの。</p> <p>②木材使用量に占める地域材使用割合の合計は60%以上とする。</p> <p>③建設単価（建築物本体工事費／延床面積）が㎡当たり200,000円を上回るもの。</p> <p>④建設単価には、建築物の本体工事に要する経費のみを含めることとし、用地造成、外構工事、備品購入、設計等に係る経費は含めない。</p> <p>⑤他の補助事業、又は起債の対象となる場合は、その補助金、又は地方債を充当した後の市町負担額に対する木造化経費の補助とする。</p> <p>工事期間が2ヶ年以上に渡る場合は、施工箇所、事業費区分等で当年度分として区分できるものを補助対象の事業費とする。ただし、採択の条件の確認が各年度において行えない場合は、最終年度において補助金の交付を行うものとする。</p>
<b>事業主体</b>	市町（事業実施主体：市町、学校法人、社会福祉法人 他）
<b>補助金額</b>	<p>木造化による建設単価が、延床面積当たり200,000円を上回る場合に、200,000円と建設単価との差額の1/2以内を、床面積当たり20,000円を上限として補助する。</p> <p>ただし、他の補助事業の対象となり、その補助対象単価が200,000円より高い場合は、その補助対象単価と建設単価との差額とする。</p> <p>1施設当たり補助金の上限額を20,000千円とする。ただし、補助対象面積に対する地域材使用量が0.22㎡／㎡を下回る場合（屋内運動場及びこれに準じる施設を除く）は10,000千円とする。</p>

### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 20,836千円（県事務費104千円を含む）  
 (2) 実施内容

事業主体	施設名	施設概要	補助金額	備考
西条市	西条小学校 ことばの教室	木造平屋建て 200.00㎡	385千円	補助対象事業として計画承認を行ったが、入札の結果等により補助には至らなかった。
	石根公民館	木造平屋建て 416.25㎡	347千円	
今治市	伯方中学校 屋内運動場	木造平屋建て 1,541.62㎡	20,000千円	
松山市	児童養護施設 親和園	木造2階建て 2,251.81㎡	0千円	
久万高原町	直瀬小学校 屋内運動場	木造平屋建て 559.30㎡	0千円	
西予市	三瓶中学校 屋内運動場	木造一部RC造2階建て 1,515.39㎡	0千円	
計			20,732千円	



(3) 実施状況



西条小学校ことばの教室



伯方中学校屋内運動場



石根公民館



直瀬小学校屋内運動場

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	10,980人	11,200人	11,420人	11,640人	45,240人
	事業費	—	64,898千円	40,848千円	25,576千円	55,000千円	186,322千円
実績	ふれあう人数	—	1,222人	3,817人			5,039人
	事業費	—	64,898千円	20,836千円			85,734千円
	実施箇所	—	三島東中屋内運動場 (四国中央市) 久万小管理教室棟、 父二峰小屋内運動場 (久万高原町) 大和保育所、 新谷公民館喜多山分館 (大洲市) 魚成小 (西予市) 篠山小中学校合同校舎 (愛南町)	西条小学校ことばの 教室、石根公民館 (西条市) 伯方中学校屋内運動場 (今治市) 親和園 (松山市) 直瀬小学校屋内運動場 (久万高原町) 三瓶中学校屋内運動場 (西予市)			

## ⑥県立学校校舎整備事業（一部森林環境税事業）

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

### 1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されているなか、生徒の安全確保を図るため旧耐震基準で建築された校舎を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進める。

3階建て以上のものはRC造とするが、内装の木質化を図る。

### 2 平成19年度実績

(1) 実績額 956,947千円（うち、森林環境税16,000千円充当）

(2) 事業内容

学校名	施設名	整備概要	事業費
今治北高等学校	本館	(改築) RC造4階 2,240㎡ 内装木質化 設置教室：校長室、保健室、普通教室、事務室、物理実験室ほか	438,618千円 (うち森林環境税 8,000千円)
宇和島東高等学校	本館	(改築) RC造4階 2,329㎡ 内装木質化 設置教室：校長室、事務室、会議室、図書室、自習室、理科実験室ほか	518,329千円 (うち森林環境税 8,000千円)
計			956,947千円 (うち森林環境税 16,000千円)

(3) 実施状況

① 今治北高等学校（本館）



校舎南面



校舎北面



正面玄関



玄関ホール



廊下



校長室



普通教室



保健室

② 宇和島東高等学校 (本館)



校舎北面



校舎南面



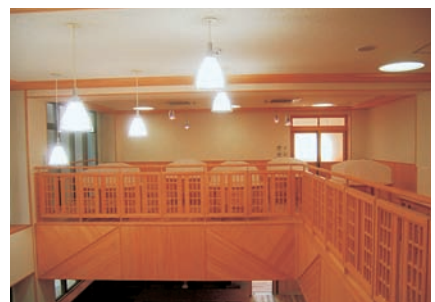
図書室前



玄関ホール



図書室



自習室



廊下



会議室

3 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	2,400人	2,800人	3,200人	3,600人	4,000人	16,000人
	事業費	1,340,708千円	1,291,132千円	1,038,486千円	1,389,974千円	未定	5,060,300千円
	うち森林環境税	16,000千円	17,000千円	16,000千円	16,000千円	16,000千円	81,000千円
実績	ふれあう人数	2,167人	4,936人	8,215人			15,318人
	事業費	1,271,363千円	1,220,043千円	956,947千円			3,448,353千円
	うち森林環境税	16,000千円	17,000千円	16,000千円			49,000千円
績	実施箇所	松山商業高校本館(松山市)、川之江高校普通教棟(四国中央市)	今治西高校本館(今治市)、今治北高校特別教棟(今治市)、しげのふ特別支援学校板塀(東温市)	今治北高校本館(今治市)、宇和島東高校本館(宇和島市)	伊予農業高校本館(伊予市)、松山東高校本館(松山市)		

## ⑦自然公園木製施設整備事業（H19新規）

県内の自然公園において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵、階段などの公園利用施設を整備します。

### 1 ポイント

自然公園（瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、石鎚国立公園、県立自然公園）において、県内産木材を使用した公園利用施設を整備することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を図り、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

### 2 事業内容

○事業主体 県（自然保護課）

### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 11,861千円（事務費380千円含む。）

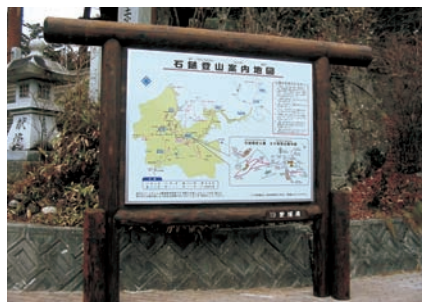
(2) 実施内容

公園名	箇所名	市町名	整備内容
瀬戸内海国立公園	鳶鴉山園地	今治市	階段、ウッドブロック、標識
瀬戸内海国立公園	正味名駒線道路（歩道）	今治市	案内板
足摺宇和海国立公園	高茂岬園地	愛南町	木柵、階段
石鎚国立公園	石鎚土小屋ロータリー園地	西条市	案内板
皿ヶ嶺連峰県立自然公園	皿ヶ嶺頂上北分岐	久万高原町	標識
四国カルスト県立自然公園	小田深山	内子町	案内板

(3) 実施状況



鳶鴉山園地



石鎚土小屋ロータリー園地



小田深山

### 4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	—	30,000人(6施設)	30,000人(3施設)	30,000人(3施設)	90,000人(12施設)
	事業費	—	—	12,860千円	7,800千円	8,000千円	28,660千円
実績	ふれあう人数	—	—	30,000人(6施設)			30,000人(6施設)
	事業費	—	—	11,861千円			11,861千円
	実施箇所	—	—	鳶鴉山園地、正味名駒線道路、高茂岬園地、石鎚土小屋ロータリー園地、皿ヶ嶺頂上北分岐、小田深山			

## ⑧木の香る公園施設整備（H19新規）

利用者に優しい公園施設の整備を進めていきます。

### 1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※ 県管理の都市公園

愛媛県総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

### 2 平成19年度実績

(1) 実績額 1,850千円

(2) 実施内容

公園名、地区名	事業主体	事業内容	事業費
第3号南予レクリエーション都市公園（花木園）	愛媛県	東屋（3m×4m）1基	1,850千円
計			1,850千円

(3) 実施状況

（東屋設置後の状況）



### 3 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数（箇所）	—	—	2,780(1)	2,780(2)	79,390(1)	84,950(4)
	事業費（千円）	—	—	1,850	3,570	5,000	10,420
実績	ふれあう人数（箇所）	—	—	2,310(1)			2,310(1)
	事業費（千円）	—	—	1,850			1,850
	事業実施箇所	—	—	第3号南レク公園（花木園）東屋設置工事	第3号南レク公園（香木園、山頂園）東屋設置工事	愛媛県総合運動公園東屋設置工事	

## ⑨えひめ材の家づくり促進支援事業（H19新規）

これから県内に住宅を建築する施主に対し良質な柱材80本を無償で提供し、木造住宅の建設を促進することにより、県産材の需要拡大を通しての健全な森林整備を目指します。

### 1 ポイント

これから県内に住宅を建築する施主に対し、良質な柱材80本を無償提供します。

### 2 採択要件等

提供材	柱材80本（184千円以内＝2,300円（スギ10.5cm角の3m材相当分）×80本） 県内で生産されたスギ・ヒノキの柱材で、日本農林規格（JAS）に合格した物または同等の品質を有するもの、かつ、天然乾燥又は人工乾燥により25%以下の含水率まで乾燥させた材。
補助対象	次の条件をすべて満たす住宅を建築する施主 ①県内において自らが居住するために建築する住宅 ②柱材提供申請年度の3月中旬までに上棟される住宅 ③別表に掲げる主要部材に県産材を概ね80%以上使用し、延床面積80㎡以上の住宅 ④提供された柱が見える部屋を1室以上設置 ⑤県内に事務所を置く業者により建築される住宅 ⑥建設中、愛媛県林材業振興会議から貸し出されるのぼりを設置しPRに協力することができる住宅 ⑦完成後、アンケートに答えるなど3年間のモニター協力できる者が建てる住宅
事業主体	愛媛県林材業振興会議（会長：窪田 亀一）

別表1

主要部材	在来工法	土台、大引、根太、通柱、管柱、間柱、桁、梁、筋交、小屋束、棟木、母屋、垂木
	桝組壁工法等	土台、床根太、端根太、側根太、まぐさ、天井根太、垂木、棟木、壁の上桝及び頭つなぎ、壁のたて桝、筋交い

### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 7,524千円
- (2) 実施内容  
木造住宅を建築する施主に対し、柱材を無償で提供する。
- (3) 実施状況  
施主37名に対し、柱材80本を無償提供した。



建築中、のほりを設置しPR中の住宅（松山市内）



上棟された住宅（松山市内）



上棟された住宅の柱が見える部屋（松山市内）



#### 4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	無償提供件数	—	—	45件	45件	45件	135件
	事業費	—	—	9,062千円	8,984千円	8,984千円	27,030千円
実績	無償提供件数	—	—	37件			37件
	事業費	—	—	7,524千円			7,524千円

## ⑩バイオマスペレット利活用総合対策事業（H19新規・一部森林環境税事業）

地域に散在する未利用バイオマスを技術的に確立した方法でペレット化することにより、バイオマスの発生から加工、利用に至る循環過程を総合的にシステム化し、資源循環型地域社会の構築を目指します。

### 1 ポイント

バイオマスペレットの利活用を推進するため、ペレット製造・販売業者や利用者、関係自治体等で構成された推進会議を設立・運営し普及啓発を行なうとともに、燃料、堆肥、飼料の各用途別に生産から流通・利用体制の整備を行なう。

### 2 事業内容等

(1)バイオマスペレット利用促進対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスペレット利活用推進会議の運営</li> <li>・地域活動団体への活動助成（助成額：上限100千円）</li> <li>・県内イベント会場（特設ブース）での普及啓発活動</li> </ul>
(2)木質ペレット利活用促進事業（燃料）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発用ペレットストーブの導入助成（森林環境税事業）</li> <li>・農業用ハウスにおける木質ペレット暖房機導入に向けた実証試験</li> </ul>
(3)堆肥ペレット利活用促進事業（堆肥）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥ペレットの運搬、散布に係るコントラクター組織（作業請負組織）づくりのための協議会の開催</li> <li>・果樹園地等での省力的散布方法の検討や放牧地等の急傾斜地での堆肥散布技術の実証</li> </ul>
(4)竹ペレット利活用促進事業（飼料）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備への助成（補助率1/2以内）（森林環境税事業）</li> <li>・畜産業者に対する普及啓発及び給与家畜等への影響調査</li> </ul>

### 3 平成19年度実績 9,993千円（うち、森林環境税2,992千円充当） ペレットストーブ導入助成（県庁県民総合相談プラザ）

事業区分	予算額	うち森林環境税充当額
(1)バイオマスペレット利用促進対策事業	2,040千円	
(2)木質ペレット利活用促進事業（燃料）	7,078千円	1,664千円
(3)堆肥ペレット利活用促進事業（堆肥）	4,058千円	
(4)竹ペレット利活用促進事業（飼料）	4,080千円	1,328千円



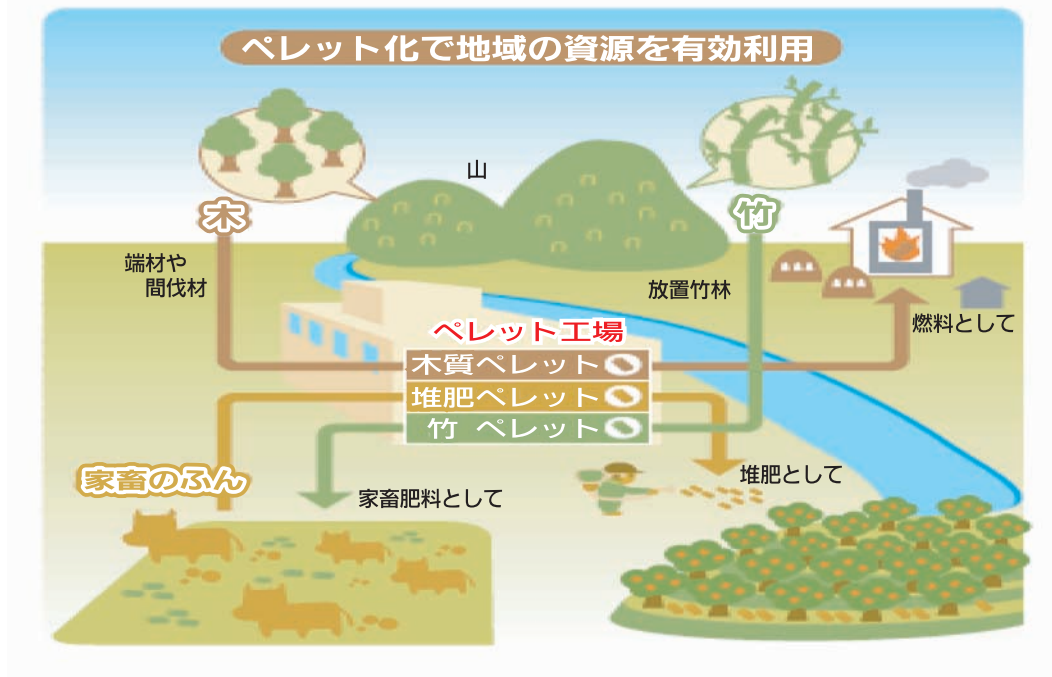
### 4 事業期間 平成19～21年度

### 5 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計	ふれあう人数	—	—	1,800人	2,585人	2,380人	6,765人
	竹使用量	—	—	1,000m <sup>3</sup>	1,000m <sup>3</sup>	—	2,000m <sup>3</sup>
	事業費	—	—	11,158千円	8,528千円	未定	19,686千円
	うち森林環境税	—	—	3,167千円	4,091千円	1,500千円	8,758千円
実	ふれあう人数	—	—	11,095人			11,095人
	竹使用量	—	—	140m <sup>3</sup> (6ha)			140m <sup>3</sup> (6ha)
	事業費	—	—	9,993千円			9,993千円
	うち森林環境税	—	—	2,992千円			2,992千円
績	実施箇所	—	—	ペレットストーブ：7台 (県庁県民総合相談プラザ、新居浜シルバー人材センター、東温市立南吉井保育園、砥部町交流ふるさと研修の宿、伊予市中山町クラフトの里、久万高原町役場、内子町役場小田支所)	ペレットストーブ：9台 (東中予予地方局県民相談プラザ各1台、その他6台)		
				竹林整備6ha：内子町	竹林整備6ha：内子町		



## 6 事業イメージ及び実施状況



### 竹ペレット利活用促進事業（内子町）



チッパーシュレッダで伐採した竹を粉碎処理



整備後の竹林（列状に伐採）



## ① 県民と森との交流促進事業（一部森林環境税事業）

森林ボランティア活動をはじめとする県民の皆様の森林を利活用する活動の支援など、森林の積極的な利活用を促進します。

### 1 ポイント

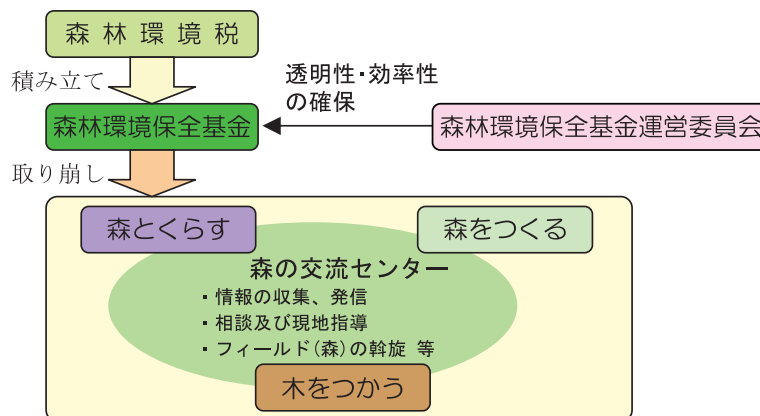
森林の利活用促進を図るため、県緑化センター内に設置した「愛媛県森の交流センター」を拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行うとともに、決定したロゴマークや啓発用ポスター原画の活用等により、森林を利活用する活動への参加に向けた、県民の関心を喚起しています。

また、平成16年11月に制定した「えひめ山の日」を普及啓発することで、県民総参加の森林づくり活動を広くアピールするため、「えひめ山の日集い」を開催しています。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を設置・開催して、事業の調査・審議を行います。

また、県民を森へ誘い、森林の意義を普及啓発するために、森林に関する知識や活動方法などの講座を開催しています。

### 2 事業イメージ



### 3 平成19年度実績

(1) 実績額 10,206千円（うち、森林環境税5,944千円充当）

(2) 事業内容

(1) 県民と森との交流促進	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛媛県森の交流センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の利活用に関する情報の収集と発信</li> <li>・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導</li> <li>・森林利活用活動のためのフィールド（森）の斡旋 等</li> </ul> </li> <li>○普及広報</li> </ul>
(2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	<p>【委員会の概要】</p> <p>森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、公募委員を含む委員10名からなる委員会を運営。</p>
(3) 「えひめ山の日集い」の開催事業	<p>【事業内容】</p> <p>「えひめ山の日」を普及啓発するシンボル事業として、森の中で過ごす一日をテーマとした式典や、幼児期における森林との関わりを考えるシンポジウム、県内3箇所での現地体験活動を実施。また、平成19年度は、第32回全国育樹祭イベントとして開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○えひめ山の日集い（式典）・「国民参加の森林づくり」シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> <li>【開催日】平成19年10月27日（土） 【開催場所】愛媛県武道館</li> </ul> </li> <li>○えひめ山の日集い（現地体験） <ul style="list-style-type: none"> <li>【開催日】平成19年11月11日（日） 【開催場所】石鎚山成就社、えひめ森林公園、御荘平山</li> </ul> </li> </ul>
(4) 「えひめ山の日」普及啓発事業	<p>「えひめ山の日」を中心として10/1から11/11を「えひめ山の日推進期間」として、県下各地で関連事業を実施してもらうなど、「えひめ山の日」の普及啓発を積極的に実施。</p>
(5) 森への誘い推進事業	<p>「えひめ森の案内人」による、県民が森にふれあうための知識や活動方法などの講座を開催。</p>

(3) 実施状況

① 愛媛県森の交流センターの運営

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループや団体間の人的交流や情報の交流を行い、森林・林業等にかかわる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として、平成17年度に愛媛県緑化センター（東温市）内に設置した施設であり、以下の業務を行いました。

ア 組織

県庁農林水産部森林局森林整備課保護緑化係に属し、担当係長、担当職員、森との交流相談員及び臨時職員の4名

イ 業務内容

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や国・県・市・町が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、県民参加による森林との共生文化の創造に関して、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

② 普及広報

ポスター原画最優秀作品1点を活用して森林環境税のしくみや事業内容の普及啓発を行いました。

また、森林環境税の用途を広く県民にPRするため、森林環境税活用事業の取り組み状況について新聞広告を行いました。



「緑がいっぱい」  
菊池 安倫  
八幡浜市立日土小学校  
(平成17年10月選定当時)

③ 「えひめ山の日の集い」の開催

ア えひめ山の日の集い（式典）

アトラクションなどのメイン行事と、森の青空市や森のふれあい動物園などのサブ行事を開催し、県内から約3,300名の参加者を得て、盛大に開催することができました。

時間	次第	内容	出演者等	
13:30	開会		司会：森 礼見、林和香子	
	主催者あいさつ		愛媛県副知事	
	森の名手・名人紹介	平成19年度認定証の伝達	(財)愛媛の森林基金理事長	
	森での活動事例紹介	森林ボランティア活動紹介		
14:30	第32回全国育樹祭紹介	全国育樹祭関連情報紹介	愛媛県農林水産部森林局長	
	アトラクション	テーマ：森の一日	語り：森の精霊 スオウアキラ	
	プロローグ～森の朝	ほら貝の目覚め（ほら貝演奏）	加藤法泰	
	森のお昼	トークショー「自然の恵みと暮らす」	森の住人 柳生真吾	
		緑の少年団活動紹介	代表発表：西谷緑の少年団 映像紹介：朝倉緑の少年団、双岩小学校緑の少年団	
	森の夜	木の音コンサート	森のアーティスト 扇柳トール	
	森の朝ふたたび	森の鼓動（和太鼓演奏）	伊予之國山水軍太鼓「鼓響倶楽部」	
		森の贈り物（「愛媛の歌」合唱）	松山少年少女合唱団・出演者全員	
	16:00	グランドフィナーレ		

森とくらす活動

イ 「国民参加の森林づくり」 シンポジウム

県内から270名の参加者を得て、森林のもつ保育・教育的機能やその役割を考えることができました。

時間	次第	内容	出演者等
10:00	開会 主催者あいさつ		司会：鈴木奈穂子 (財)愛媛の森林基金理事長、 (社)国土緑化推進機構専務理事
10:10	基調講演	「センス・オブ・ワンダー ～子どもたちに豊かな感性を～」	レイチェル・カーソン日本協会理事長 上遠恵子
11:00	基調報告・討論	「森のようちえんから吹く風」 「山林に生かされる」 「森林が子どもを育てる」	(財)キープ協会 「キープ森のようちえん♪」事務局 小西貴士 愛媛県指導林家 岡 信一 東京農業大学准教授 上原 巖 司会：朝日新聞ジャーナリスト学校シニア研究員 佐田智子
12:30	閉会あいさつ		朝日新聞大阪本社編集局長補佐

ウ えひめ山の日の集い（現地体験）

東予、中予、南予の3会場において、合計330名の参加者を得て、森林とふれあうことができました。

地域	東予会場	中予会場	南予会場
場所	石鎚成就社（西条市）	えひめ森林公園（伊予市）	御荘平山（愛南町）
開始時間	9：00	13：30	13：30
内容	・登山道の整備（風倒木の整理） ・ベンチ作成（風倒木の加工）	・森林づくりコース（地拵え、植樹） ・森の観察コース（自然観察会） ・森の体験コース（森での遊び体験） ・木工コース（ポスト、ベンチ作成）	・竹林整備（里山保全） ・竹炭づくり（大型炭化炉の炭焼き）



〔式典〕開催風景

〔シンポジウム〕開催風景



東予



中予



南予

〔現地体験〕開催風景

④ 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の開催

任 期：平成19年4月1日～平成21年3月31日（2年間）

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

第1回委員会開催（H19.9.5）	・ H18事業実績報告及びH19事業進捗状況報告
第2回委員会開催（H20.3.19）	・ H19県指定事業の進捗及び実績報告 ・ H20公募事業審査 他



⑤ 森への誘い推進事業

一般県民に森林に関する知識や技術の普及を図り、「県民参加の森林づくり」活動を推進するため、えひめ森の案内人会に計5回の講座を開催いただき、32名の方が修了されました。

※えひめ森の案内人会……H14～H18年度に開催した「えひめ森の案内人養成講座」の修了者有志で構成される団体で、県下各地で県民の皆さんを森へ案内し、森に親しむための手助けをしています。

回	内容	実施日・場所
1	開講式 講座「森林のしくみⅠ（環境）」 森林の多様な機能	11月10日（土） えひめ森林公園
2	講座「森林のしくみⅡ（植物）」 植物の種類と由来、見分け方	11月24日（土） えひめ森林公園
3	講座「森林に親しむ方策」 山での安全、野山の楽しみ方、楽しい山歩き	12月8日（土） 県緑化センター、皿ヶ嶺
4	講座「森林のしくみⅢ（動物）」 森林の観察方法、動物の名前、野鳥の観察	12月15日（土） えひめ森林公園
5	講座「森林ボランティア入門」 里山との共生とは、人工林の間伐 閉講式	1月5日（土） えひめ森林公園



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	森の交流センター相談件数	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	50,000件
	「えひめ山の日の集い」参加者数	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	5,000人
	森への誘い人数	—	—	40人	40人	40人	120人
	事業費	21,723千円	12,293千円	12,475千円	15,291千円	15,386千円	77,168千円
	うち森林環境税	16,115千円	7,461千円	8,114千円	15,124千円	15,386千円	62,200千円
実 績	森の交流センター相談件数	1,178件	1,311件	1,485件			3,974件
	「えひめ山の日の集い」参加者数	700人	550人	3,900人			5,150人
	森への誘い人数	—	—	32人			32人
	事業費	17,163千円	11,195千円	10,206千円			38,564千円
	うち森林環境税	12,828千円	6,449千円	5,944千円			25,221千円

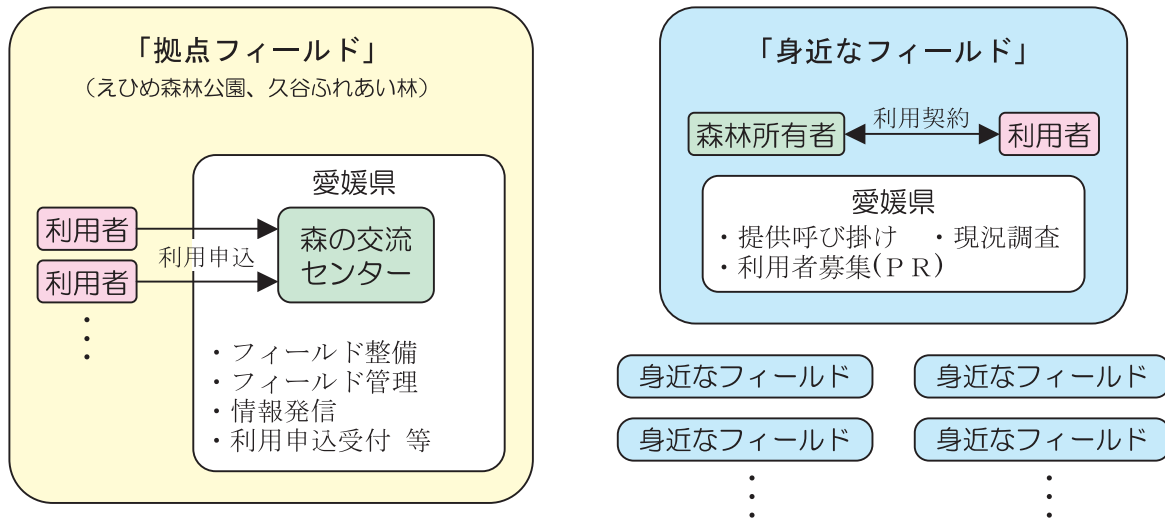
## ②県民参加の森設置・提供事業

県民の皆様が、手軽に森林ボランティアなどの森林を利活用する活動に参加できるようにするため、そのフィールドとなる森林を整備し、活用の場として提供します。

### 1 ポイント

手入れが行き届かず、荒廃した森林の再生を図るため、県民が手軽に、また身近に利活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる身近な山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

### 2 事業イメージ



### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 33,740千円
- (2) 実施内容

<p>①県民参加の「拠点フィールド」設置事業</p>	<p><b>【概要】</b> 松山市の久谷ふれあい林（11.1ha）において、歩道371.3m及び作業道500mを整備するとともに、間伐3.8ha、枝打ち2.0ha、地拵え0.6haを実施。</p> <p><b>【利用方法】</b> 「森の交流センター」を窓口として、森林ボランティア活動等を希望する団体からの申込を受け付け、活動の場を提供。</p> <p><b>【面積】</b> 県民参加の森：52.83ha、久谷ふれあい林：11.10ha</p>
<p>②県民参加の「身近なフィールド」提供事業</p>	<p><b>【概要】</b> 県は森林所有者へ森林の提供を呼びかけ、候補森林の現況調査や提供可能な森林の情報発信を行い、活動を希望する団体や企業等へ斡旋する。</p> <p>また、近年、大企業を中心に高まりを見せているCSR活動の一環として行われる森林づくり活動に対し側面的に支援する。</p> <p>なお、御槇1号（463.7ha）において、ボランティアの安全利用に資するため作業道800mの整備、間伐4.6haを実施。</p> <p><b>【登録件数】</b> 平成19年度登録件数6件 (平成19年度末累計30件、1004.42ha)</p>

① 拠点フィールド



アクセス等

①県民参加の森

住所：愛媛県伊予市上三谷

「えひめ森林公園」内

アクセス：

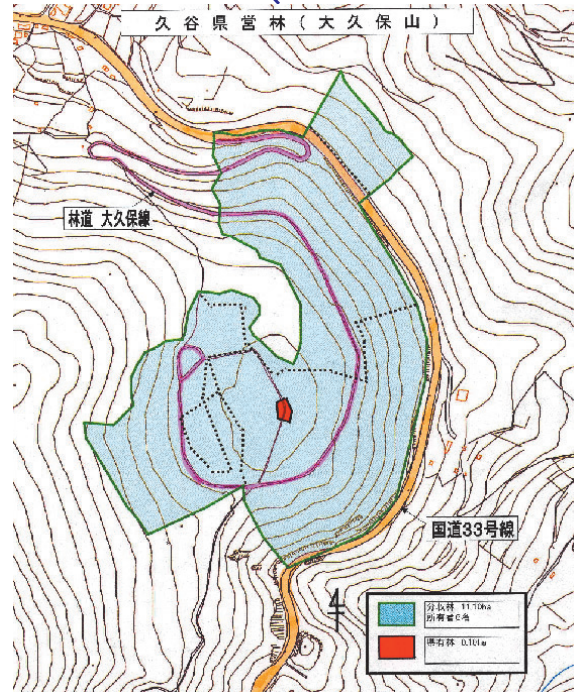
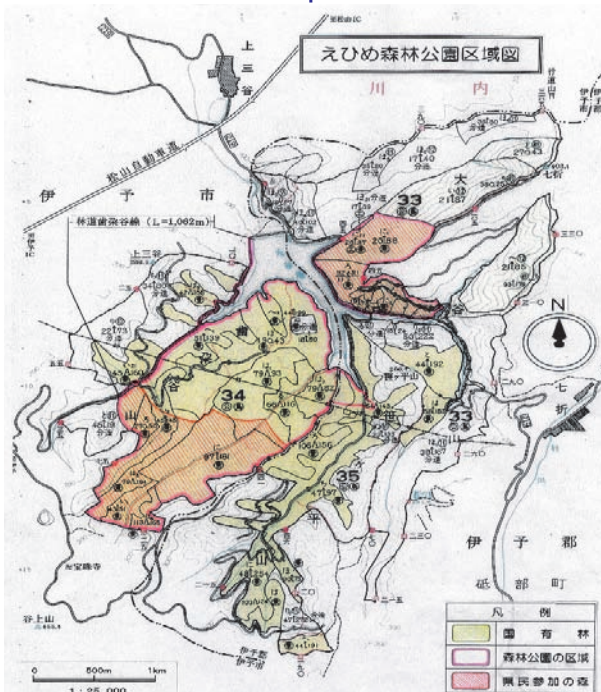
- ・伊予市方面のR56から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・R33砥部町拾町交差点から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・JRいよ横田駅から徒歩1時間

②久谷ふれあい林

住所：愛媛県松山市久谷町

アクセス：

- ・松山市内からR33で久万高原町方面へ、大久保坂付近



「県民参加の森」は、えひめ森林公園に隣接する国有林52.83haを借り受け、森林ボランティア活動を実施する団体の「拠点フィールド」として、管理道、歩道等の整備を行っています。なお、活動に必要な機材、器具類の貸し出しもえひめ森林公園管理棟で行っていますので御利用ください。

「久谷ふれあい林」は、昭和41年に本県で開催された「全国植樹祭」の会場であり、平成18年度より「拠点フィールド」として間伐や管理道改良等の整備を進めており、今年10月には、本県で開催される「全国育樹祭」において、皇族殿下による「お手入れ行事」の開催場所となっています。

② 拠点フィールド及び身近なフィールド

番号	登録年度	名称	所有者	所在地	面積 (ha)	樹種	利用団体	H19利用人数	「企業の森づくり」の名称
1	17	横谷山	市	松山市	0.60	ケヤキ、伐採跡地	(社)愛媛県トラック協会		
2	17	豊岡山	町	松野町	1.51	広葉樹(一部クスギ)			
3	17	横吹森林公園	団体	鬼北町	3.12	スギ、ヒノキ、マツ			
4	17	加茂川水源の森1	個人	西条市	0.49	スギ、ヒノキ(クスギ、ケヤキ)	石鐘水源の森くらぶ		
5	17	加茂川水源の森2	個人	西条市	2.60	スギ、ヒノキ(ケヤキ、ヤマザクラ)	石鐘水源の森くらぶ		
6	17	若山	市	八幡浜市	21.42	スギ、ヒノキ、その他広葉樹			
7	17	田畑山	個人	大洲市	0.97	ヒノキ			
8	17	三滝溪谷林	市	西予市	0.16	ヒノキ	城川町林業研究グループ		
9	17	ふくさの森	個人	東温市	1.87	スギ、ヒノキ、タケ、サカキ	山の木くらぶ、ふくさの森の会		
10	17	黒谷2号	県	西条市	5.63	ヒノキ、クスギ、マツ	東予青年漁業者連絡協議会	20	
11	17	久谷ふれあい林	県	松山市	11.10	スギ、ヒノキ			
12	17	横谷	県	松山市	38.16	スギ、ヒノキ	佛愛媛銀行		愛媛銀行echoの森
13	17	松瀬川2号	県	東温市	77.96	スギ、ヒノキ	愛媛トヨベットの森		愛媛トヨベットの森
14	17	御檜1号	県	宇和島市	463.74	スギ、ヒノキ			
15	17	御檜2号	県	宇和島市	0.80	ヒノキ			
16	17	県民参加の森	県	伊予市	52.83	スギ、ヒノキ	(社)愛媛県トラック協会	250	
							愛媛県フロン回収処理推進協議会	50	
17	17	塩ヶ森ふるさと公園	市	東温市	1.23	モミジ、サクラ、ヒノキ			
18	17	黒岩山公園	市	宇和島市	1.05	ケヤキ等広葉樹	滑床千年の森をつくる会		
19	17	深山	財産区	西予市	1.74	ヤマザクラ等広葉樹	水源の森くらぶ		
20	17	千疋山	市	今治市	0.98	モミジ等広葉樹			
21	18	龍王山	市	西条市	3.30	ヒノキ、ザツ			
22	18	小松山	市	西条市	2.40	ヒノキ、クスギ			
23	18	湯谷口山1	個人	西条市	0.17	竹			
24	18	湯谷口山2	個人	西条市	0.16	竹			
25	18	藤野山	個人	松山市	0.51	竹(切り竹)	(財)愛媛の森林基金	30	
26	18	旧林業試験場山	県	東温市	2.58	スギ、ヒノキ、マツ	えひめ森林ボランティア連絡協議会		
							コスモ松山石油㈱	82	
27	19	奈良原山	団体	今治市	24.93	広葉樹	奈良原山を育む会		
28	19	長岡山公園	県	内子町	5.14	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	城廻自治会		
29	19	宅並山	団体	松山市	1.07	広葉樹	宅並山を育てる会		
30	19	今治共有山	市	今治市	177.08	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	太陽石油㈱	59	今治市 太陽が育む森
31	19	宮内財産区	市	八幡浜市	113.47	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹			
32	19	西条市有林	市	西条市	49.78	ヒノキ	アサヒビール㈱		アサヒビール生命の森
計					1,068.35			544	

③ 企業の森づくり推進

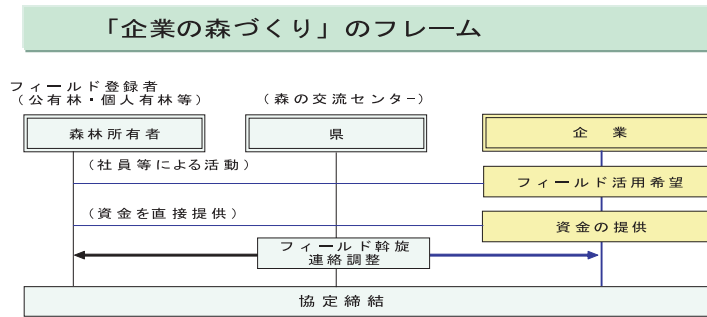
※「企業の森づくり」協定の実績

企業名	森林所有者・場所	協定締結者	協定期間	協賛金
太陽石油(株) (協定名) 「今治市 太陽が育む森」 (協定締結日 平成19年8月22日)	今治市 市有林 41.80ha	3者(タイプA) 太陽石油, 市, 県(幹旋)	3年間 19年8月22日 ~ 22年3月31日	200万円/年
アサヒビール(株) (協定名) 「アサヒビール <sup>いのち</sup> 生命の森」 (協定締結日 平成20年3月10日)	西条市 市有林 49.78ha	4者(タイプB) アサヒビール, 愛媛の森 林基金, 市, 県(幹旋)	3年間 20年3月10日 ~ 23年3月31日	3~6月の売り 上げの一部 (1本1円) 約100万円 /年見込
(株)愛媛銀行 (協定名) 「愛媛銀行ecHoの森」 (協定締結日 平成20年3月10日)	愛媛県 県有林 横谷事業所 38.16ha	3者(タイプB) 愛媛銀行, 愛媛の森 林基金, 県(森林所有者)	5年間 20年4月1日 ~ 25年3月31日	50万円/年
愛媛トヨベットの森(株) (協定名) 「愛媛トヨベットの森」 (協定締結日 平成20年3月10日)	愛媛県 県有林 松瀬川事業所 5.63ha	3者(タイプB) 愛媛トヨベットの森 林基金, 県(森林所有 者)	3年間 20年4月1日 ~ 23年3月31日	100万円/3年

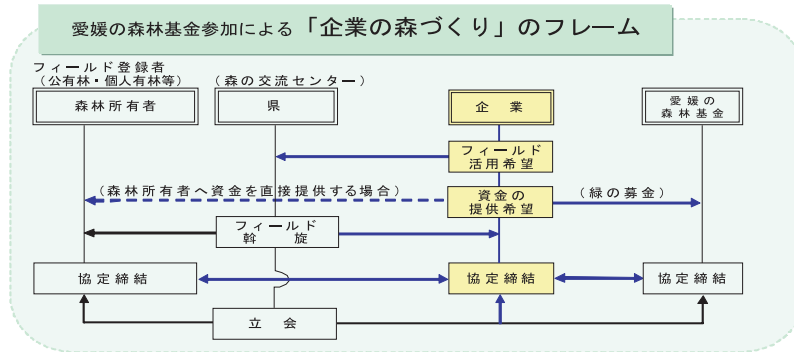


※「企業の森づくり」のフレーム

Aタイプ



Bタイプ



(3) 実施状況



久谷ふれあい林（拠点フィールド）



御槓1号（身近なフィールド）



太陽石油(株)、今治市、県



アサヒビール(株)、(株)愛媛銀行、愛媛トヨペット(株)、(財)愛媛の森林基金、県

「企業の森づくり」協定の締結式

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
計	ボランティア人数	拠点フィールド	1,800人	3,600人	3,600人	3,600人	3,600人	16,200人
		身近なフィールド	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
画	設置箇所数	拠点フィールド	1箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	2箇所
		身近なフィールド	50箇所	50箇所	50箇所	50箇所	50箇所	250箇所
事業費		19,600千円	19,667千円	34,095千円	34,385千円	21,087千円	128,834千円	
実	ボランティア人数	拠点フィールド	0人	115人	300人			415人
		身近なフィールド	185人	364人	50人			599人
績	設置箇所数	拠点フィールド	1箇所	1箇所	0箇所			2箇所
		身近なフィールド	18箇所	6箇所	6箇所			30箇所
事業費		15,130千円	16,545千円	33,740千円			65,415千円	

### ③「森はともだち」推進事業

小・中学校において、森林環境を大切にする児童生徒を育てるために、「総合的な学習の時間」に森林をテーマにした体験学習を実施する事業実施校を設置し、実践的な研究を行います。

#### 1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能をもっています。その保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民の理解を深めていくことが求められています。そのためには、義務教育の段階から森林環境に関する学習を進めていくことが有意義です。

そこで、「総合的な学習の時間」を活用して森林環境について学習する事業実施校10校を設置し、森林の保全や整備に関する理解を深めるとともに、森林環境を大切にしていこうとする態度を育て、森林環境保全意識をもった人づくりに貢献します。

#### 2 事業内容

- (1) 目的 森林環境を大切にする児童生徒を育てる。
- (2) 事業主体 愛媛県教育委員会義務教育課
- (3) 補助率 10/10
- (4) 実施方法 事業実施校（18・19年度：5校、19・20年度：5校）において、以下の内容に関する体験活動を実施する。
  - ・「緑の少年団」活動
  - ・身近な森林や河川の状況等の調査、森林整備活動
  - ・県産木材や竹材を利用したグッズの作成や炭づくり

#### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 3,150千円（事務費150千円含む。）
- (2) 事業内容

指定年度	事業実施校	テーマ	実施内容	参加人数	事業費
H18	新居浜市立角野中学校	森林に関心をもち、森林保全等の環境問題に進んで取り組む生徒の育成	・間伐体験、間伐材での作品作り ・炭焼き体験	357人	300千円
H18	今治市立鴨部小学校	森からのおくりものふるさと鴨部を守り育てる児童の育成	・竹炭づくり、竹細工 ・森の自然調べ、蒼社川探検	136人	300千円
H18	東温市立西谷小学校	西谷の自然と共に生きる児童の育成	・海と川の学校との環境サミット ・植林、枝打ち、下草刈り体験	93人	300千円
H18	大洲市立肱川中学校	ふるさとを愛し、主体的に活動する生徒の育成	・炭焼き体験、炭のプレゼント ・シイタケ栽培、枝打ち・間伐体験	95人	300千円
H18	宇和島市立清満小学校	ふるさと清満の森を守り育てる児童の育成	・竹炭づくり、竹細工 ・「清満の森」森林学習（役割調査）	141人	300千円
H19	四国中央市立金生第二小学校	思いやりの心を持ち、たくましく生きる児童の育成	・高文殊山の森探検、森林学習 ・竹炭づくり	156人	300千円
H19	今治市立九和小学校	学び合い、共に育つ児童の育成	・森林植樹、枝打ち体験 ・木工細工、竹炭づくり	211人	300千円
H19	久万高原町立久万中学校	ひと・里・森がふれあい、自然を愛する生徒の育成	・枝打ち、植樹作業 ・地元産木材を使つてのグッズ作り	205人	300千円
H19	八幡浜市立双岩小学校	ともに学び合い、豊かに表現する児童の育成	・シイタケ栽培、木工細工 ・竹林調査、間伐体験	95人	300千円
H19	鬼北町立日吉中学校	ふるさとを愛し、日吉の森を守り育てる生徒の育成	・シイタケ栽培、木工細工 ・炭焼き体験、植樹	57人	300千円
計				1,546人	3,000千円

(3) 実施状況



森林学習（角野中）



竹炭作り（鴨部小）



環境サミット「自然はともだち」（西谷小）



間伐体験（肱川中）



間伐体験（清満小）



親子自然観察会（金生第二小）



枝打ち体験（九和小）



植樹体験（久万中）



親子木工教室（双岩小）



森のベンチ作り（日吉中）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数（人）	—	1,230	2,460	2,460	1,230	7,380
	事業費（千円）	—	1,575	3,150	3,150	1,575	9,450
実績	ふれあう人数（人）	—	836	1,546			2,382
	事業費（千円）	—	1,575	3,150			4,725
	実施箇所	—	角野中（新居浜市） 鴨部小（今治市） 西谷小（東温市） 肱川中（大洲市） 清満小（宇和島市）	角野中（新居浜市） 鴨部小（今治市） 西谷小（東温市） 肱川中（大洲市） 清満小（宇和島市） 金生第二小 （四国中央市） 九和小（今治市） 久万中 （久万高原町） 双岩小（八幡浜市） 日吉中（鬼北町）			

## ④自然観察会開催事業

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

### 1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図る。

### 2 事業内容等

- 対象 県内在住の小・中学生及びその保護者等
- 事業主体 愛媛県（自然保護課）
- 事業内容
  - ① 講習会  
専門家から森林や野生鳥獣の話聞く
  - ② 自然観察  
森林内に生息する野鳥や虫、草花を観察する
  - ③ 森林教室  
木の良さや森林の有する公益的機能の理解促進を図る

### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 1,015千円
- (2) 実施内容

	日時	場所	内容	参加者数
第1回	H19.5.20 (日)	石鎚国立公園 (久万高原町 面河溪谷)	講習、自然観察、木工 教室、森林教室	67
第2回	H19.8.5 (日)	石鎚国立公園 (西条市 瓶ヶ森)	講習、自然観察	33
第3回	H19.11.18 (日)	足摺宇和海国立公園 (松野町 滑床溪谷)	講習、自然観察、森林 教室	77
計	3回			177

(3) 実施状況



第1回 森林教室（散策）



第1回 森林土壌に生息する虫の観察



第1回 木工教室



第2回 講習（石鎚山について）



第2回 自然観察（瓶ヶ森）



第3回 森林教室（講習）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	210人	210人	210人	210人	840人
	事業費	—	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	7,600千円
実	ふれあう人数	—	179人	177人			356人
	事業費	—	1,593千円	1,015千円			2,608千円
績	実施箇所	—	県立自然公園（皿ヶ嶺連峰、四国カルスト、金砂湖）	石鎚国定公園（面河溪谷、瓶ヶ森）、足摺宇和海国立公園（滑床溪谷）			

## ⑤森とのふれあい活動促進事業（H19新規）

森林づくりを行う青少年や県民の皆様の活動を支援し、森とのふれあい活動を促進します。

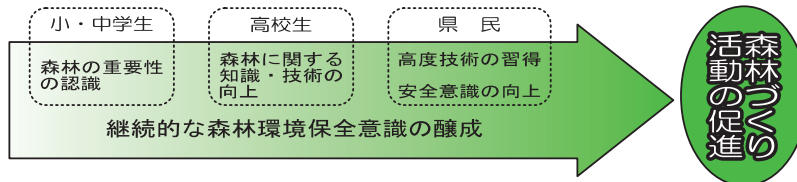
### 1 ポイント

森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくことを目的として、各世代における森林づくり活動をサポートし、継続的な森林環境保全意識の醸成を行う。

まず、小・中学生において、森林を大切にすることを養うため、「緑の少年団」を結成して行う持続的な森林環境教育や森林づくり活動に加えて、全国的な大会や交流集会に参加する機会を設けて、森林の重要性の認識度を向上させるとともに、意識的・体力的に比較的高いレベルにありながら、森林環境教育の機会が少ない高校生においては、森林ボランティア活動等の専門分野を含めた講習及び技術指導を行い、積極的に森林づくり活動への参加を促進する。

また、すでに高い森林保全意識をもって森林づくり活動を実施している県民においては、より一層の技術や安全意識の向上を図るため、技術研修及び交流研修会を実施する。

### 2 事業イメージ



### 3 平成19年度実績

- (1) 実績額 4,766千円
- (2) 事業内容

(1) 緑の少年団結成推進事業	<p>【事業概要】 森林づくりを行う青少年の活動を支援するため、「緑の少年団」の結成にかかる装備整備への補助を行う。</p> <p>【事業主体】 市町                      【補助率】 10/10</p>
(2) 森林づくり県民活動推進事業	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年の育成：高校生を対象として、森林環境教育と森林保全活動の技術指導を行うための合宿を実施</li> <li>○一般県民の育成： <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林づくり技術の安全教育を実施</li> <li>・森林づくり活動や森とふれあう活動を行うグループの技術交流研修会の実施</li> </ul> </li> </ul>

#### (3) 実施状況

##### ① 緑の少年団結成推進事業

市町名	少年団名	学校名	団員数
今治市	いまよう緑の少年団	今治養護学校	182
	波方小学校緑の少年団	波方小学校	32
	亀岡小学校緑の少年団	亀岡小学校	50
上島町	上島町弓削緑の少年団	弓削小学校	51
	上島町岩城緑の少年団	岩城小学校	43
	上島町生名緑の少年団	生名小学校	33
	上島町魚島緑の少年団	魚島小学校 魚島中学校 高井神小学校	7
伊予市	北山崎小学校緑の少年隊	北山崎小学校	361
久万高原町	仕七川小緑の少年団	仕七川小学校	29
大洲市	大和小緑の少年団	大和小学校	22
	肱川緑の少年団	肱川中学校	83
八幡浜市	舌田小緑の少年団	舌田小学校	21
伊方町	伊方中学校緑の少年隊	伊方中学校	160
計	13団		1,074人

新たに13団が緑の少年団の仲間に入り、現在、計101団が活発な活動を行っています。



② 森林づくり県民活動推進事業

ア 青少年の育成（森にとける－高校生の夏－）

大洲青年の家を拠点に、4泊5日の合宿で13名の参加者が座学や現地体験、グループ討議に熱心に取り組みました。

日程	内容	講師・指導者等
8月6日 (月)	講演「持続する地域」 講演「農山漁村地域維持・再形成の課題」	元野村町森林組合組合長 上甲義夫 愛媛大学農学部教授 鶴見武道
8月7日 (火)	講義「木竹材の炭化法と炭焼きの現代的意義」 炭焼き	愛媛大学農学部教授 鶴見武道 えひめ森林ボランティア連絡協議会会員
8月8日 (水)	下刈り・枝打ち・間伐 窯開け・出炭	県林業研究グループ連絡協議会会員 えひめ森林ボランティア連絡協議会会員
8月9日 (木)	トークライブ 「木を植えましょう」 脇川カヌー体験	森の声主宰・インド哲学者 正木高志 大洲青年の家職員
8月10日 (金)	発表会（グループ討議まとめ）	



イ 一般県民の育成（森林ボランティア交流研修会）

えひめ森林ボランティア連絡協議会会員を中心とした、県内で森林ボランティア活動を行う45名が1泊2日の研修を行い、意見交換や実地体験などを通じて、技術の向上を図りました。

日程	内容	場所
1月26日 (土)	ドラム缶窯での炭焼き 概要説明、炭焼作業 安全な伐木造材作業 模範伐木作業、チェーンソー作業体験等	県緑化センター
1月27日 (日)	講演「国産材利用の大切さ」 (愛媛大学農学部教授 林 和男) 出炭作業	にぎたつ会館 県緑化センター



ウ 一般県民の育成（県民参加の森林づくり活動安全研修）

県内から公募で集まった22名の研修生が、県林業技術センターにおいて伐木造材作業等に関する基本知識や安全確保の技術について、座学と実技に取り組みました。

日程	内容
2月23日 (土)	座学「チェーンソーに関する知識」 実技「チェーンソーの操作」
2月24日 (日)	座学「伐木作業に関する知識」 実習「伐木実習及び林業作業に係る技術応用編」



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	少年団新規結成団数(団) (団員数(人))	—	—	20 (800)	30 (1,200)	—	50 (2,000)
	森にふれあう人数(人)	—	—	80	480	80	640
	事業費(千円)	—	—	6,227	9,662	2,907	18,796
実 績	少年団新規結成数(団) (団員数(人))	—	—	13 (1,074)	—	—	13 (1,074)
	森にふれあう人数(人)	—	—	80	—	—	80
	事業費(千円)	—	—	4,766	—	—	4,766

## (2) 公募事業

### 県民参加の森づくり公募事業

県民の皆様の豊かな発想を施策に反映するとともに、県民の皆様が自発的に取り組む森林の活用等の活動を支援することで、森林に対する県民参加の具体化を図るため、広く県民の皆様からの事業提案を募集します。

#### 1 ポイント

県が創設した「森林環境税」の目指す、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県として取り組む森林環境税事業としてふさわしい施策を、広く県民から公募します。

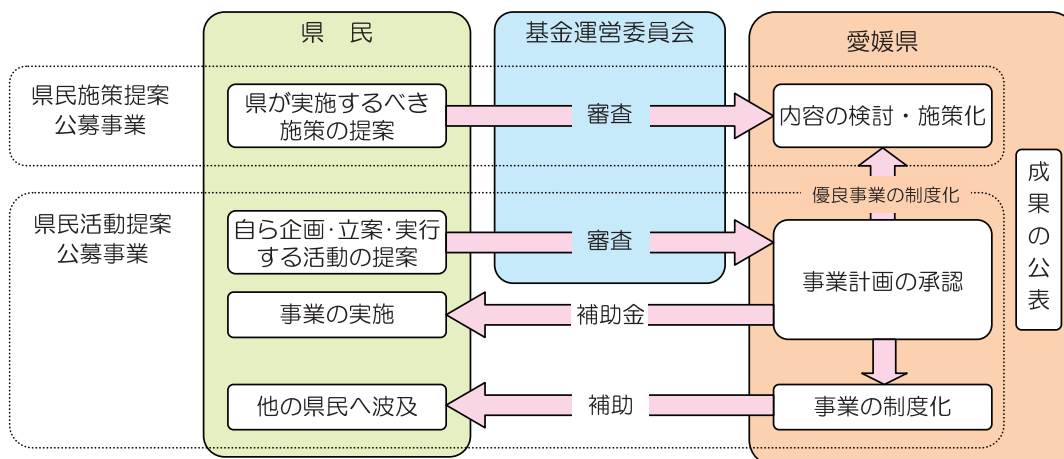
また、県民参加の具体性を確保し、県民の自発的な活動を促進するため、県民自らが企画・立案・実行する活動を公募し、補助するほか、補助した事業については、他の県民にも波及するよう制度化するとともに、必要に応じて県としての施策化も検討します。

#### 2 事業内容

愛媛県森林環境保全基金公募事業募集要領に基づき、以下のとおり県民からの事業提案を募集します。また、事業の選定は、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県で審査・検討のうえ、決定します。

<p>(1) 県民施策提案 公募事業</p>	<p><b>【事業概要】</b> 森林環境税を財源として県が実施するべき施策を広く県民から募集し、審査・検討のうえ、県実施事業としてふさわしいものについて施策化を検討します。</p>
<p>(2) 県民活動提案 公募事業</p>	<p><b>【事業概要】</b> 森林環境税の趣旨に即し、県民が自ら企画・立案・実行する活動を広く募集し、審査・選定のうえ、適当と認めるものについては、事業実施に要する必要最小限の経費に対し、補助金を交付します。</p> <p><b>【対象となる事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆森とくらす活動に関する事業 森林環境教育、森林保全活動、森林ボランティア活動等</li> <li>◆森をつくる活動に関する事業 放置森林、放置竹林、里山林等の整備活動等</li> <li>◆木をつかう活動に関する事業 木材利用推進活動、木工広場の開催等</li> </ul> <p><b>【補助率】</b> 事業費500千円以下の部分 事業費と同額 事業費500千円を超える部分 1/2 ※ただし上限事業費2,000千円とする。</p>

#### 3 事業イメージ





#### 4 平成19年度実績

- 県民施策提案公募事業  
    施策提案 1件

- 県民活動提案公募事業

(1) 実績額 28,909千円

(2) 実施内容

合計72件の応募があり、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県において厳正に審査のうえ、申請いただいた事業の全てを採択し、この内71件が実施されました。

県民活動提案公募事業一覧表

大区分	小区分	要望事業費等			県選定事業費等			実施事業費等		
		件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額
森をつくる活動	間伐	6	2,470,270	2,468,000	6	2,470,270	2,468,000	6	2,358,067	2,347,000
	植樹	8	3,271,050	3,270,000	8	3,201,050	3,200,000	8	3,041,746	3,018,000
	竹林整備	8	2,801,385	2,800,000	8	2,801,385	2,800,000	7	2,483,827	2,475,000
	環境整備	3	1,150,000	2,800,000	3	1,150,000	1,150,000	3	1,157,173	1,150,000
	小計	25	9,692,705	11,338,000	25	9,622,705	9,618,000	24	9,040,813	8,990,000
木をつかう活動	木材普及	7	3,361,000	3,361,000	7	3,361,000	3,361,000	7	3,417,410	3,361,000
	木工	22	8,398,845	8,391,000	22	8,398,845	8,391,000	22	8,359,189	8,276,000
	小計	29	11,759,845	11,752,000	29	11,759,845	11,752,000	29	11,776,599	11,637,000
森とくらす活動	環境教育	4	2,299,900	2,149,000	4	2,299,900	2,149,000	4	1,857,010	1,853,000
	森林体験	13	6,414,980	6,164,000	13	6,344,980	6,094,000	13	6,218,961	5,929,000
	炭焼	1	500,000	500,000	1	500,000	500,000	1	516,741	500,000
	小計	18	9,214,880	8,813,000	18	9,144,880	8,743,000	18	8,592,712	8,282,000
合計		72	30,667,430	31,903,000	72	30,527,430	30,113,000	71	29,410,124	28,909,000

なお、箇所別活動状況については、次頁以降のとおりです。

#### 5 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
計 画	公募事業参加者数	1,800人	5,400人	10,800人	10,800人	10,800人	39,600人	
	事業費	20,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	140,000千円	
実 績	公募事業参加者数	8,764人	13,595人	15,060人			37,419人	
	補助金額	17,695千円	27,995千円	28,909千円			74,599千円	
	実施状況	応募件数	83件	70件	72件			225件
		実施件数	42件	69件	71件			182件

## 平成19年度県民活動提案公募事業一覧

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森をつくる活動	1	西条市	山の木クラブ	間伐	家族で間伐を!	森林環境保全への関心を高めるため、放置森(竹)林を間伐し、発生する材を薪や木(竹)細工材料に活用した。	90,000
	2	西条市	竹林をよくする会	竹林整備	竹の利用普及による竹林整備の促進	放置竹林を間伐し、炭や竹細工に加工・活用することによって、竹林整備の必要性和竹資源の有効性を普及した。	335,000
	3	今治市	宮窪保育所保護者会 ママさんクラブ	竹林整備	森林保全啓蒙	放置森林への関心を高めるため、保育所周辺の里山の整理、木工体験、苺料理体験会などを開催した。	370,000
	4	今治市	宮窪幼稚園PTA	竹林整備	森林整備保全	放置竹林への関心を高めるため、幼稚園保護者が伐採・整理、苺料理教室、竹細工教室を開催した。	500,000
	5	今治市	宮窪小学校PTA 環境部	竹林整備	森林循環促進	放置竹林への関心を高めるため、小学校PTAが伐採・整理、苺料理教室、竹細工教室を開催した。	400,000
	6	今治市	今治地区林材業振興 会議	竹林整備	竹資源循環利用	放置竹林を伐採・整理し、伐採竹を竹炭、竹チップ、竹細工などに活用した。	500,000
	7	今治市	奈良原さんの自然を 育む会	環境整備	自然環境を考える 森林体験学習	地域住民に親しまれている榎原山で、地域材で歩道を補修するとともに、地元小学生を対象にした森林環境教育を行った。	500,000
	8	東温市	えひめ千年の森をつ くる会	間伐	森林ボランティア の技術習得(2)	森林ボランティア作業を安全に行うため、チェーンソーの取扱いや安全作業に関する研修会を開催した。	500,000
	9	東温市	コスモ松山石油株式 会社	植樹	コスモ石油の森づ くり	地球温暖化防止への意識を高めるため、社員が植樹や下刈など森林整備を体験した。	90,000
	10	松山市	もりもりCO <sub>2</sub> ダイ エット推進プロジェ クトチーム	間伐	もりもりCO <sub>2</sub> ダイ エットそうだ、 森へ行こう!	えひめ山の日に、一般県民が気楽に森林ボランティアの活動に参加できるようCMを制作し広くよびかけた。	500,000
	11	松山市	宅並山を育てる会	植樹	森とくらす活動に 関する事業	地域住民に親しまれる宅並山に、地元小学校児童が桜・ツツジを植樹し、地域住民との交流会などを開催した。	500,000
	12	松山市	オイスカ愛媛県支局	植樹	自分の森をつくら うオイスカの森 INえひめ	松山市民の水源地森林への関心を高めるため、高校生などとマツやケヤキを植樹した。	492,000
	13	松山市	NPO法人 松山子ども劇場21	植樹	里山を再生して子 どもと一緒に遊ぼ う	子どもたちが自然の中で活動できる里山を提供するため、不用木の伐採やクヌギなど実のなる木を植樹した。	320,000
	14	松山市	NPO法人 おでかけ支援サークル おでかけ・ナビ3801	竹林整備	おおたに竹林リサ イクル	当初予定していた炭窯が使用できなくなったため、申請廃止。	0
	15	松山市	久米森と炭焼きの会	竹林整備	県内の森林整備と炭 焼きを通じた自然環 境教育推進の活動	放置森(竹)林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルでの竹林整備や炭焼き体験会などを開催した。	226,000
	16	伊予市	えひめ学生森林ボラ ンティア	間伐	えひめ学生の森	大学生や高校生の森林ボランティアを対象に、講習会の開催や枝打ち活動を体験した。	493,000
	17	伊予市	愛媛県フロン回収・ 処理推進協議会	植樹	地球温暖化防止植 林	地球温暖化防止への意識を高めるため、えひめ森林公園内の松くい虫被害跡地にマツを植樹した。	318,000
	18	久万高原	愛媛木材青年協議会	間伐	柚人座~其の二~	山の手入れの大切さや木材への理解を深めるため、間伐や間伐した材の搬出・製材体験会を開催した。	265,000
	19	久万高原	柳谷壮年会	植樹	さくらの里づくり	急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区にふるさとづくりとして桜を植樹した。	300,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森をつくる活動	20	内子町	石畳小学校PTA	竹林整備	竹林有効活用	放置竹林の整備を行い、炭焼きや竹細工により竹の有効利用や環境保全を啓発した。	144,000
	21	八幡浜市	宮内財産区	植樹	宮内財産区の森整備活動	地域の森林を守り育てるため、地域住民と宮内小学校6年生とが広葉樹を植樹した。	500,000
	22	西予市	城川町林業研究会	環境整備	竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり	竜沢寺緑地公園を森に親しむ場とするため、周辺森林を間伐し木製プランター台や巣箱を設置した。	300,000
	23	西予市	宇和町林業研究会	環境整備	黒瀬城跡周辺森林整備	市民に親しまれている黒瀬城跡の周辺森林の林内整理や歩道整備などを行った。	350,000
	24	宇和島市	滑床千年の森をつくる会	間伐	滑床ふれあいの森	源流森林への関心を高めるため、滑床ふれあいの森での間伐や自然観察、炭焼き体験会を開催した。	499,000
25	宇和島市	宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会	植樹	海を育む森林づくり「真珠の森」の植樹祭	都市と地域住民が協働して「海を育む森林づくり」を体験する植樹活動を行った。	498,000	
木をつかう活動	26	西条市	橘小学校PTA	木工	親子木工教室	森林の役割や木材の良さを学ぶ木工教室を開催した。	97,000
	27	西条市	丹原小学校PTA	木工	親子木工教室	森林の役割や木材の良さを学ぶ木工教室を開催した。	115,000
	28	今治市	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会	木材普及	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進	地域材の地産地消への関心を高めるため、間伐材体験や木造の家づくり講習会を開催した。	500,000
	29	今治市	地域づくり研究会「源流」	木工	汗を流しておもてなし～散策の道づくり～	県内外から多くの訪問者が訪れる遍路道の周辺森林を間伐するとともにベンチを作製・設置した。	300,000
	30	松山市	エコ・ライフ夢幻村	木材普及	間伐材活用のドームキット製作	間伐材から三角ドームや竹ドームを試作し、その作成図面を普及した。	451,000
	31	松山市	矢野 英二	木材普及	竹フレームテントづくり	竹の有効利用を図る竹フレームテントを作成し、その作成マニュアルを普及した。	410,000
	32	松山市	NPO法人アジアフィルムネットワーク	木材普及	間伐材癒し道具開発	癒しと健康をテーマにした木工品を作製し、地域材の魅力と可能性の発揮に挑戦した。	500,000
	33	松山市	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエット推進プロジェクトチーム	木材普及	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエットキャンペーン	地球温暖化防止への関心を高める、森の授業や木工教室を、南海放送24時間テレビのイベント会場内で開催した。	500,000
	34	松山市	愛媛県森林組合職員連盟本会支部	木工	木材市売り体験・間伐材を使ったベンチ製作	木材の現状を学習する市売体験会や木材をベンチで利用する木工体験会を開催した。	500,000
	35	松山市	中島南小学校閉校記念事業実行委員会	木工	松山市立中島南小学校閉校記念環境整備	地域材を使ったいすやテーブルを作製し、閉校後に地域で利用される小学校の校庭に設置した。	497,000
	36	松山市	木でつながるなかま「円い森」	木工	森につながり楽しい時間「おはなし組み木」編	子供たちの森への意識を高めるため、組み木を使ったお話会や、木について学ぶ森のかげら講座などを開催した。	333,000
	37	松山市	ひめゆりグループ	木工	アルプホルンによる都市と山村の交流	放置林の間伐体験を行うとともに、間伐木を利用したアルプホルンを作製した。	500,000
	38	松山市	NPO法人JMACS	木工	五感で木とふれあう講座開催	都市の子どもが、ベンチの作製を通じて五感で木にふれあう体験会を開催した。	395,000
	39	松山市	木でつながるなかま「円い森」	木工	木工教室で森につながる	都市の親子を対象に、木工作家を講師におもちゃの作製など木工教室を開催した。	72,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
木をつかう活動	40	伊予市	愛媛木材青年協議会	木工	木材とのふれあい促進と木製いすの配布活動	絵本「どうぞのいす」に出てくる木製いすを作製し、児童施設や教育施設に配布した。	435,000
	41	伊予市	愛媛県森林組合連合会	木工	森の木工教室	森林環境の大切さや木材への理解を深めるため、森林内で木工教室を開催した。	408,000
	42	久万高原	久万高原町森林と緑の推進協議会	木工	親子木工コーナーの常設	木工体験を通じて木の素晴らしさを肌で感じてもらうため、愛媛県林業技術センター展示館内に親子木工コーナーを設置した。	300,000
	43	大洲市	大洲喜多地産地消の家づくり協議会	木材普及	大洲喜多地産地消の家づくり促進	一般県民の木材の地産地消への関心を高めるため、植樹体験会や木造の家づくり講習会を開催した。	500,000
	44	大洲市	肱東中学校教養部	木工	親子木工教室	地域の親子が地域材を使用した椅子などを作製し中学校に設置した。	430,000
	45	大洲市	河辺中学校PTA	木工	地元材を使った木製ベンチ作り	地域材を使用したベンチを作製し、地域の公共施設(中学校、公園など)に設置した。	501,000
	46	大洲市	中野幼稚園・小学校PTA	木工	親子木工教室	地域材を使用したベンチを作製し、地域の幼稚園、小学校、公民館などに設置した。	400,000
	47	八幡浜市	八西地区林材業振興会議	木材普及	八西地区地産地消の家づくり推進	地域材の活用を普及するため、木造住宅(構造)のミニチュアを作製し、家づくりの学習会などを開催した。	500,000
	48	八幡浜市	南海放送株式会社	木工	ふるさと探訪明治を歩く八幡浜・川之石エコウォーク	環境への意識を高めるエコウォークにあわせて、森林について学習し、プランターカーを作製し市内の小中学校に配布した。	500,000
	49	伊方町	二見地区公園管理委員会	木工	間伐材を使ったベンチ製作	地域住民が木材に親しめるよう伊方町亀ヶ池公園にベンチを作製・設置した。	500,000
	50	西予市	石城レクバレーチーム	木工	木材とのふれあい促進	地域の子ども達とスギ材を使用したベンチを作製し、地域で活用するよう公民館や社会福祉施設などに配布した。	500,000
	51	西予市	西予市森林と緑の推進協議会	木工	親子で木工体験	親子が気軽に参加し森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。	300,000
	52	西予市	平野大人と子供のふれあいと自然活動	木工	木材とのふれあい促進	地域材を使用したベンチを作製し、集会所などへ配布した。	293,000
	53	西予市	元気みやのうら	木工	木材とのふれあい促進	地域の子ども達とスギ材を使用したベンチを作製し、地域で活用するよう公民館や小学校などに配布した。	500,000
54	愛南町	南宇和地区林材業振興会議	木工	木とのふれあい教室(親子手作り木工広場)	森林・林業に理解を深める木工広場を開催した。	400,000	
森とくらす活動	55	新居浜市	夢遊友うずい	森林体験	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育	しいたけ植菌体験会を通じて広葉樹の多面的機能を学習した。	60,000
	56	西条市	NPO法人石鎚森の学校	森林体験	石鎚森の学校2007	森林環境保全の大切さを体感するため、石鎚山頂周辺の森林で、自然観察、森林整備体験会を開催した。	500,000
	57	東温市	えひめ千年の森をつくる会	森林体験	千年の森の自然体験キャンプ	小学生を対象に、枝打ち、下刈り、間伐材を使った木工などが体験できる学習会を開催した。	500,000
	58	東温市	えひめ千年の森をつくる会	森林体験	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエットPART II	間伐材の有効利用として、木質バイオマスを普及する、間伐体験・ベレットストーブの利用体験会を開催した。	458,000
	59	東温市	ふくさの森の会	森林体験	森と木造の家との饗庭	地域の元集会所である木造の家とその周辺森林で、都市住民が森とふれあう、木工体験、生活体験会などを開催した。	500,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森とくらす活動	60	松山市	チームプロジェクト 与作	環境教育	プロジェクト与作 (里山再生プログラム)	小学生を対象に、ベンチづくり体験を通して森林・木材の循環利用について考える森林環境教育を実施した。	433,000
	61	松山市	えひめ地域づくり ネットワーク	環境教育	こども自然案内人 養成講座	学校や地域で自然観察などのリーダーを養成する講座(森林観察、炭焼きなど)を開催した。	450,000
	62	松山市	松山こども夢ひろば	環境教育	こども森の学校	松山総合公園内の森林で、森林の大切さや守る心を育て、環境のために行動できる子供を育てる「森の学校」を開催した。	470,000
	63	松山市	焚き火クラブ	森林体験	薪を使ってバイオ マス活用	身近な燃料の薪を通じて木質バイオマスを普及する、間伐体験会や薪割り体験会を開催した。	444,000
	64	松山市	NPO法人 自然環境教育えここのは	森林体験	森の時間その3～ おいしい年輪をつ くろう～	森林と暮らしのかかわりを学ぶため、食材を探して学ぶ森林散策会や時間の流れを学ぶ年輪観察会などを開催した。	325,000
	65	松山市	ムッターシューレ愛 媛	森林体験	森の広場木と遊ぼ う・歌おう	将来を担う幼児に五感を通じて森や木に親しむ機会を与える、紙芝居、クラフト体験などを開催した。	500,000
	66	伊予市	森林・自然体験活動 連絡会	森林体験	森林・自然体験活 動推進	森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園などでネイチャーゲーム、クラフト教室、きのこ観察会などを開催した。	500,000
	67	伊予市	えひめ森林ボラン ティア連絡協議会	森林体験	えひめ山の日 に森へ行こう	「えひめ山の日(11月11日)」に県下3箇所 で森林に親しむ体験会を開催した。	403,000
	68	八幡浜市	八西林業研究グル ープ	環境教育	森林林業教室開 催	地域の小学生親子を対象に、木工やしいたけ植菌体験を通して、森林やきのこの働きを学習する森林教室を開催した。	500,000
	69	八幡浜市	さんきら自然塾	森林体験	「佐田岬半島巨木 図鑑」作成・配布と「春夏秋冬森の役割 観察会」	地域住民に親しまれている佐田岬半島の巨木を調査し、写真チラシ(A3版1枚)を作製し、自然観察会を開催した。	489,000
	70	西予市	むらの新資源研 究会・山奥組	森林体験	里山の植生調査 とふれあい	これまで整備してきた里山の植生図鑑や町内の巨木図鑑を作製し、観察会などを開催した。	750,000
	71	西予市	百姓百品株式会 社	森林体験	森林環境につい て考える交流活 動	都市住民が、シイタケ植菌作業を通じて森林の現状や保全活動を学習した。	500,000
	72	西予市	社会福祉法人 宇和町社会福祉施設 協会希望の森	炭焼き	炭焼き・しいたけ 栽培体験	地域住民が交流を深めながら、炭焼き体験会やシイタケ植菌体験会を開催した。	500,000
合 計							28,909,000

# 平成19年度県民活動提案公募事業箇所別活動状況

(森をつくる活動)

整理番号 1

事業名	家族で間伐を！	
事業主体名	山の木クラブ	
代表者名	代表者名：田内 秀樹	会 員：20名
事務局住所	松山市緑町2丁目7番地1	
連絡先	担当者名：田内 秀樹	電 話：089-943-6151
実施箇所	西条市	
事業の概要	森林環境保全への関心を高めるため、放置森（竹）林を間伐し、発生する材を薪や木（竹）細工材料に活用した。	
事業費	事業費：92,818円	補助金額：90,000円
活動状況	活動回数：13回	参加延べ人数：62人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号 2

事業名	竹の利用普及による竹林整備の促進	
事業主体名	竹林をよくする会	
代表者名	代表者名：前 弘之	会 員：65名
事務局住所	西条市兔之山甲201-1	
連絡先	担当者名：前 弘之	電 話：0897-53-3778
実施箇所	西条市	
事業の概要	放置竹林を間伐し、炭や竹細工に加工・活用することによって、竹林整備の必要性と竹資源の有効性を普及した。	
事業費	事業費：335,051円	補助金額：335,000円
活動状況	活動回数：15回	参加延べ人数：642人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号3

事業名	森林保全啓蒙	
事業主体名	宮窪保育所保護者会ママさんクラブ	
代表者名	代表者名：藤本真奈美	会 員：60名
事務局住所	今治市宮窪町宮窪2901	
連絡先	担当者名：藤本真奈美	電 話：0897-86-3412
実施箇所	今治市	
事業の概要	放置森林への関心を高めるため、保育所周辺の里山の整理、木工体験、筍料理体験会などを開催した。	
事業費	事業費：370,685円	補助金額：370,000円
活動状況	活動回数：5回	参加延べ人数：274人
状況写真	  	

(森をつくる活動)

整理番号4

事業名	森林整備保全	
事業主体名	宮窪幼稚園PTA	
代表者名	代表者名：世古 愛	会 員：23名
事務局住所	今治市宮窪町宮窪2993-1	
連絡先	担当者名：世古 愛	電 話：0897-86-2274
実施箇所	今治市	
事業の概要	放置竹林への関心を高めるため、幼稚園保護者が伐採・整理、筍料理教室、竹細工教室を開催した。	
事業費	事業費：501,609円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：4回	参加延べ人数：219人
状況写真	  	

(森をつくる活動)

整理番号5

事業名	森林循環促進	
事業主体名	宮窪小学校PTA環境部	
代表者名	代表者名：高瀬 晴美	会 員：117名
事務局住所	今治市宮窪町宮窪1623-1	
連絡先	担当者名：高瀬 晴美	電 話：0897-86-3146
実施箇所	今治市	
事業の概要	放置竹林への関心を高めるため、小学校PTAが伐採・整理、筍料理教室、竹細工教室を開催した。	
事業費	事業費：400,297円	補助金額：400,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：351人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号6

事業名	竹資源循環利用	
事業主体名	今治地区林材業振興会議	
代表者名	代表者名：越智 忍	会 員：7名
事務局住所	今治市旭町1-4-9	
連絡先	担当者名：渡邊 晋輔	電 話：0898-25-2193
実施箇所	今治市	
事業の概要	放置竹林を伐採・整理し、伐採竹を竹炭、竹チップ、竹細工などに活用した。	
事業費	事業費：503,147円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：8回	参加延べ人数：179人
状況写真		



(森をつくる活動)

整理番号7

事業名	自然環境を考える森林体験学習	
事業主体名	奈良原さんの自然を育む会	
代表者名	代表者名：青井 三郎	会 員：66名
事務局住所	今治市大西町新町甲1026-7	
連絡先	担当者名：青井 三郎	電 話：0898-53-3039
実施箇所	今治市	
事業の概要	地域住民に親しまれている栖原山で、地域材で歩道を補修するとともに、地元小学生を対象にした森林環境教育を行った。	
事業費	事業費：506,121円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：80人
状況写真		


(森をつくる活動)

整理番号8

事業名	森林ボランティアの技術習得 (2)	
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会 員：270名
事務局住所	東温市井内甲915-2	
連絡先	担当者名：鶴見 恵子	電 話：089-966-6251
実施箇所	東温市	
事業の概要	森林ボランティア作業を安全に行うため、チェーンソーの取扱いや安全作業に関する研修会を開催した。	
事業費	事業費：500,282円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：62人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号9

事業名	コスモ石油の森づくり	
事業主体名	コスモ松山石油株式会社	
代表者名	代表者名：幸 啓一	
事務局住所	松山市大可賀3丁目580番地 コスモ松山石油株式会社	
連絡先	担当者名：高橋 馨	電話：089-951-1111
実施箇所	東温市	
事業の概要	地球温暖化防止への意識を高めるため、社員が植樹や下刈など森林整備を体験した。	
事業費	事業費：91,103円	補助金額：90,000円
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：82人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号10

事業名	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエットそうだ、森へ行こう！	
事業主体名	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエット推進プロジェクトチーム	
代表者名	代表者名：山中佐代子	会員：12名
事務局住所	松山市本町1-1-1	
連絡先	担当者名：山中佐代子	電話：089-915-3819
実施箇所	松山市	
事業の概要	えひめ山の日に、一般県民が気楽に森林ボランティアの活動に参加できるようCMを制作し広くよびかけた。	
事業費	事業費：500,850円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：13人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号11

事業名	森とくらす活動に関する事業	
事業主体名	宅並山を育てる会	
代表者名	代表者名：有田 晋作	会 員：109名
事務局住所	松山市二番町4丁目7-2	
連絡先	担当者名：大森 武志	電 話：089-948-6735
実施箇所	松山市	
事業の概要	地域住民に親しまれる宅並山に、地元小学校児童が桜・ツツジを植樹し、地域住民との交流会などを開催した。	
事業費	事業費：500,082円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：477人
状況写真		


(森をつくる活動)

整理番号12

事業名	自分の森をつくろうオイスカの森 IN えひめ	
事業主体名	オイスカ愛媛県支局	
代表者名	代表者名：宮嶋 祥式	会 員：137名
事務局住所	松山市鷹子町588-3 (東予産業㈱内)	
連絡先	担当者名：佐々木みか	電 話：089-970-3100
実施箇所	松山市	
事業の概要	松山市民の水源森林への関心を高めるため、高校生などとマツやケヤキを植樹した。	
事業費	事業費：511,182円	補助金額：492,000円
活動状況	活動回数：5回	参加延べ人数：373人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号13

事業名	里山を再生して子どもと一緒に遊ぼう
事業主体名	NPO法人松山子ども劇場21
代表者名	代表者名：中矢 操 会 員：600名
事務局住所	松山市三番町6-5-7
連絡先	担当者名：竜子 真紀 電 話：089-945-0031
実施箇所	松山市
事業の概要	子どもたちが自然の中で活動できる里山を提供するため、不用木の伐採やクヌギなど実のなる木を植樹した。
事業費	事業費：320,368円 補助金額：320,000円
活動状況	活動回数：8回 参加延べ人数：103人
状況写真	

(森をつくる活動)

整理番号15

事業名	県内の森林整備と炭焼きを通じた自然環境教育推進の活動
事業主体名	久米森と炭焼きの会
代表者名	代表者名：片岡伸二郎 会 員：15名
事務局住所	松山市来住町1377-4 (来住ふれあいセンター内)
連絡先	担当者名：片岡伸二郎 電 話：089-975-0604
実施箇所	松山市
事業の概要	放置森(竹)林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルでの竹林整備や炭焼き体験会などを開催した。
事業費	事業費：227,198円 補助金額：226,000円
活動状況	活動回数：16回 参加延べ人数：762人
状況写真	

(森をつくる活動)

整理番号16

事業名	えひめ学生の森	
事業主体名	えひめ学生森林ボランティア	
代表者名	代表者名：安藤 哲次	会 員：17名
事務局住所	松山市平井町1486	
連絡先	担当者名：安藤 哲次	電 話：089-975-1434
実施箇所	伊予市	
事業の概要	大学生や高校生の森林ボランティアを対象に、講習会の開催や枝打ち活動を体験した。	
事業費	事業費：494,056円	補助金額：493,000円
活動状況	活動回数：7回	参加延べ人数：140人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号17

事業名	地球温暖化防止植林	
事業主体名	愛媛県フロン回収・処理推進協議会	
代表者名	代表者名：八束 正	会 員：10団体
事務局住所	松山市天山三丁目9番23号	
連絡先	担当者名：天坪 豊	電 話：089-947-2624
実施箇所	伊予市	
事業の概要	地球温暖化防止への意識を高めるため、えひめ森林公園内の松くい虫被害跡地にマツを植樹した。	
事業費	事業費：318,649円	補助金額：318,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：78人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号18

事業名	杣人座～其の二～	
事業主体名	愛媛木材青年協議会	
代表者名	代表者名：日野 猛仁	会 員：19名
事務局住所	久万高原町菅生2-1326-1	
連絡先	担当者名：井部健太郎	電 話：0892-21-0017
実施箇所	久万高原	
事業の概要	山の手入れの大切さや木材への理解を深めるため、間伐や間伐した材の搬出・製材体験会を開催した。	
事業費	事業費：269,900円	補助金額：265,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：30人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号19

事業名	さくらの里づくり	
事業主体名	柳谷壮年会	
代表者名	代表者名：矢野 文隆	会 員：92名
事務局住所	上浮穴郡久万高原町柳井川923 (久万高原町役場柳谷支所内)	
連絡先	担当者名：三本 一雄	電 話：0892-54-2121
実施箇所	久万高原	
事業の概要	急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区に“ふるさとづくり”として桜を植樹した。	
事業費	事業費：301,712円	補助金額：300,000円
活動状況	活動回数：8回	参加延べ人数：553人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号20

事業名	竹林有効活用
事業主体名	石畳小学校PTA
代表者名	代表者名：寶泉 武徳 会 員：17名
事務局住所	内子町石畳2910
連絡先	担当者名：寶泉 武徳 電 話：0893-44-5870
実施箇所	内子町
事業の概要	放置竹林の整備を行い、炭焼きや竹細工により竹の有効利用や環境保全を啓発した。
事業費	事業費：145,840円 補助金額：144,000円
活動状況	活動回数：7回 参加延べ人数：209人
状況写真	

(森をつくる活動)

整理番号21

事業名	宮内財産区の森整備活動
事業主体名	宮内財産区
代表者名	代表者名：武内 信衛 会 員：3787名
事務局住所	八幡浜市保内町宮内1番耕地260 (八幡浜市役所保内庁内)
連絡先	担当者名：小野 良二 電 話：0894-22-3111
実施箇所	八幡浜市
事業の概要	地域の森林を守り育てるため、地域住民と宮内小学校6年生とが広葉樹を植樹した。
事業費	事業費：500,000円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回 参加延べ人数：78人
状況写真	


(森をつくる活動)

整理番号22

事業名	竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり	
事業主体名	城川町林業研究会	
代表者名	代表者名：増田 清	会 員：32名
事務局住所	西予市城川町下相566-1	
連絡先	担当者名：三上 宗一	電 話：0894-82-0192
実施箇所	西予市	
事業の概要	竜沢寺緑地公園を森に親しむ場とするため、周辺森林を間伐し木製プランター台や巣箱を設置した。	
事業費	事業費：300,945円	補助金額：300,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：28人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号23

事業名	黒瀬城跡周辺森林整備	
事業主体名	宇和町林業研究会	
代表者名	代表者名：二宮 一雄	会 員：34名
事務局住所	西予市宇和町卯之町4丁目746	
連絡先	担当者名：山本 和可	電 話：0894-62-1179
実施箇所	西予市	
事業の概要	市民に親しまれている黒瀬城跡の周辺森林の林内整理や歩道整備などを行った。	
事業費	事業費：350,107円	補助金額：350,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：25人
状況写真		



(森をつくる活動)

整理番号24

事業名	滑床ふれあいの森	
事業主体名	滑床千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：安藤 哲次	会 員：88名
事務局住所	松山市平井町1486	
連絡先	担当者名：安藤 哲次	電 話：089-975-1434
実施箇所	宇和島市	
事業の概要	源流森林への関心を高めるため、“滑床ふれあいの森”での間伐や自然観察、炭焼き体験会を開催した。	
事業費	事業費：500,161円	補助金額：499,000円
活動状況	活動回数：9回	参加延べ人数：106人
状況写真		

(森をつくる活動)

整理番号25

事業名	海を育む森林づくり「真珠の森」の植樹祭	
事業主体名	宇和島地域ブランド化推進事業実行委員会	
代表者名	代表者名：石橋 寛久	
事務局住所	宇和島市曙町1番地	
連絡先	担当者名：常盤 修二	電 話：0895-24-1111 (262)
実施箇所	宇和島市	
事業の概要	都市と地域住民が協働して「海を育む森づくり」を体験する植樹活動を行った。	
事業費	事業費：498,650円	補助金額：498,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：178人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号26

事業名	親子木工教室	
事業主体名	橘小学校PTA	
代表者名	代表者名：曾我部 保	会 員：111名
事務局住所	西条市福武甲850-6	
連絡先	担当者名：長瀬 広光	電 話：0897-55-6612
実施箇所	西条市	
事業の概要	森林の役割や木材の良さを学ぶ木工教室を開催した。	
事業費	事業費：97,686円	補助金額：97,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：36人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号27

事業名	親子木工教室	
事業主体名	丹原小学校PTA	
代表者名	代表者名：今井 徳美	会 員：278名
事務局住所	西条市丹原町池田534-5	
連絡先	担当者名：山本かをる	電 話：0898-68-6186
実施箇所	西条市	
事業の概要	森林の役割や木材の良さを学ぶ木工教室を開催した。	
事業費	事業費：115,000円	補助金額：115,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：113人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号28

事業名	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進
事業主体名	越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会
代表者名	代表者名：越智 彰 会 員：9名
事務局住所	今治市玉川町法界寺甲114-1
連絡先	担当者名：越智 彰 電 話：0898-55-2001
実施箇所	今治市
事業の概要	地域材の地産地消への関心を高めるため、間伐材体験や木造の家づくり講習会を開催した。
事業費	事業費：505,190円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：9回 参加延べ人数：338人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号29

事業名	汗を流しておもてなし～散策の道づくり～
事業主体名	地域づくり研究会「源流」
代表者名	代表者名：小山田憲正 会 員：19名
事務局住所	今治市玉川町別所甲483
連絡先	担当者名：小山田憲正 電 話：0898-55-2141
実施箇所	今治市
事業の概要	県内外から多くの訪問者が訪れる遍路道の周辺森林を間伐するとともにベンチを製作・設置した。
事業費	事業費：300,123円 補助金額：300,000円
活動状況	活動回数：8回 参加延べ人数：197人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号30

事業名	間伐材活用のドームキット製作	
事業主体名	エコ・ライフ夢幻村	
代表者名	代表者名：西崎 幸男	会 員：52名
事務局住所	松山市堀江町591	
連絡先	担当者名：西崎 幸男	電 話：089-960-4672
実施箇所	松山市	
事業の概要	間伐材から三角ドームや竹ドームを試作し、その作成図面を普及した。	
事業費	事業費：458,079円	補助金額：451,000円
活動状況	活動回数：19回	参加延べ人数：124人
状況写真		


(木をつかう活動)

整理番号31

事業名	竹フレームテントづくり	
事業主体名	矢野 英二	
代表者名	代表者名：矢野 英二	
事務局住所	松山市馬木町307-1	
連絡先	担当者名：矢野 英二	電 話：089-978-1806
実施箇所	松山市	
事業の概要	竹の有効利用を図る竹フレームテントを作成し、その作成マニュアルを普及した。	
事業費	事業費：410,000円	補助金額：410,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：62人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号32

事業名	間伐材癒し道具開発
事業主体名	NPO法人アジアフィルムネットワーク
代表者名	代表者名：福岡 晋也 会員：25名
事務局住所	松山市大街道1丁目3-1いよぎん南ビル
連絡先	担当者名：江戸 恵子 電話：089-934-0310
実施箇所	松山市
事業の概要	癒しと健康をテーマにした木工品を作製し、地域材の魅力と可能性の発揮に挑戦した。
事業費	事業費：500,764円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：17回 参加延べ人数：409人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号33

事業名	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエットキャンペーン
事業主体名	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエット推進プロジェクトチーム
代表者名	代表者名：山中佐代子 会員：12名
事務局住所	松山市本町1-1-1
連絡先	担当者名：山中佐代子 電話：089-915-3819
実施箇所	松山市
事業の概要	地球温暖化防止への関心を高める、森の授業や木工教室を、南海放送24時間テレビのイベント会場内で開催した。
事業費	事業費：529,757円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回 参加延べ人数：168人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号34

事業名	木材市売り体験・間伐材を使ったベンチ製作
事業主体名	愛媛県森林組合職員連盟本会支部
代表者名	代表者名：矢野 勉 会 員：47名
事務局住所	松山市三番町4丁目4番地1
連絡先	担当者名：矢野 勉 電 話：089-941-0164
実施箇所	松山市
事業の概要	木材の現状を学習する市売体験会や木材をベンチで利用する木工体験会を開催した。
事業費	事業費：505,553円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：54人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号35

事業名	松山市立中島南小学校閉校記念環境整備
事業主体名	中島南小学校閉校記念事業実行委員会
代表者名	代表者名：金本 房夫 会 員：97名
事務局住所	松山市宮野1651
連絡先	担当者名：山田 耕二 電 話：089-997-0047
実施箇所	松山市
事業の概要	地域材を使ったいすやテーブルを作製し、閉校後に地域で利用される小学校の校庭に設置した。
事業費	事業費：497,000円 補助金額：497,000円
活動状況	活動回数：2回 参加延べ人数：96人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号36

事業名	森につなぐ楽しい時間「おはなし組み木」編	
事業主体名	木でつながるなかま「円い森」	
代表者名	代表者名：高橋佐智子	会 員：6名
事務局住所	松山市平田町419	
連絡先	担当者名：高橋佐智子	電 話：089-979-6388
実施箇所	松山市	
事業の概要	子供たちの森への意識を高めるため、組み木を使ったお話会や、木について学ぶ“森のかけら講座”などを開催した。	
事業費	事業費：333,006円	補助金額：333,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：223人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号37

事業名	アルプホルンによる都市と山村の交流	
事業主体名	ひめゆりグループ	
代表者名	代表者名：河野 享子	会 員：15名
事務局住所	松山市青波町甲234	
連絡先	担当者名：河野 享子	電 話：089-977-5726
実施箇所	松山市	
事業の概要	放置林の間伐体験を行うとともに、間伐木を利用したアルプホルンを作製した。	
事業費	事業費：501,834円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：8回	参加延べ人数：44人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号38

事業名	五感で木とふれあう講座開催
事業主体名	NPO法人JMACS
代表者名	代表者名：中野 博子 会 員：10名
事務局住所	松山市三番町6丁目5-19 (扶桑ビル2階)
連絡先	担当者名：首藤 京子 電 話：089-913-0302
実施箇所	松山市
事業の概要	都市の子どもが、ベンチの作製を通じて五感で木にふれあう体験会を開催した。
事業費	事業費：395,773円 補助金額：395,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：27人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号39

事業名	木工教室で森につながる
事業主体名	木でつながるなかま「円い森」
代表者名	代表者名：高橋佐智子 会 員：6名
事務局住所	松山市平田町419
連絡先	担当者名：高橋佐智子 電 話：089-979-6388
実施箇所	松山市
事業の概要	都市の親子を対象に、木工作家を講師におもちゃの作製など木工教室を開催した。
事業費	事業費：72,000円 補助金額：72,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：105人
状況写真	



(木をつかう活動)

整理番号40

事業名	木材とのふれあい促進と木製いすの配布活動	
事業主体名	愛媛木材青年協議会	
代表者名	代表者名：日野 猛仁	会 員：17名
事務局住所	伊予市下吾川1626-1	
連絡先	担当者名：日野 猛仁	電 話：089-982-0838
実施箇所	伊予市	
事業の概要	絵本「どうぞのいす」に出てくる木製いすを作製し、児童施設や教育施設に配布した。	
事業費	事業費：435,162円	補助金額：435,000円
活動状況	活動回数：5回	参加延べ人数：55人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号41

事業名	森の木工教室	
事業主体名	愛媛県森林組合連合会	
代表者名	代表者名：窪田 亀一	
事務局住所	松山市三番町4丁目4-1	
連絡先	担当者名：宮浦 英樹	電 話：089-941-0164
実施箇所	伊予市	
事業の概要	森林環境の大切さや木材への理解を深めるため、森林内で木工教室を開催した。	
事業費	事業費：408,200円	補助金額：408,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：49人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号42

事業名	親子木工コーナーの常設	
事業主体名	久万高原町森林と緑の推進協議会	
代表者名	代表者名：玉水 寿清	
事務局住所	上浮穴郡久万高原町久万212	
連絡先	担当者名：大西 康雄	電話：0892-21-1111
実施箇所	久万高原	
事業の概要	木工体験を通じて木の素晴らしさを肌で感じてもらうため、愛媛県林業技術センター展示館内に親子木工コーナーを設置した。	
事業費	事業費：300,000円	補助金額：300,000円
活動状況	活動回数：96回	参加延べ人数：813人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号43

事業名	大洲喜多地産地消の家づくり促進	
事業主体名	大洲喜多地産地消の家づくり協議会	
代表者名	代表者名：谷本 佳市	会員：7名
事務局住所	大洲市菅田町菅田甲1954-42	
連絡先	担当者名：中野 孝廣	電話：0893-25-4030
実施箇所	大洲市	
事業の概要	一般県民の木材の地産地消への関心を高めるため、植樹体験会や木造の家づくり講習会を開催した。	
事業費	事業費：512,519円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：7回	参加延べ人数：126人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号44

事業名	親子木工教室
事業主体名	肱東中学校教養部
代表者名	代表者名：寺尾みさよ 会員：17名
事務局住所	大洲市菅田町菅田甲1790
連絡先	担当者名：一宮 一夫 電話：0893-25-2910
実施箇所	大洲市
事業の概要	地域の親子が地域材を使用した椅子などを作製し中学校に設置した。
事業費	事業費：435,000円 補助金額：430,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：40人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号45

事業名	地元材を使った木製ベンチ作り
事業主体名	河辺中学校PTA
代表者名	代表者名：本門 哲也 会員：35名
事務局住所	大洲市河辺町河都375番地
連絡先	担当者名：山田 眞市 電話：0893-39-2524
実施箇所	大洲市
事業の概要	地域材を使用したベンチを作製し、地域の公共施設（中学校、公園など）に設置した。
事業費	事業費：502,564円 補助金額：501,000円
活動状況	活動回数：3回 参加延べ人数：68人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号46

事業名	親子木工教室	
事業主体名	中野幼稚園・小学校PTA	
代表者名	代表者名：沖野 晃己	会 員：124名
事務局住所	大洲市肱川町山鳥坂527-1	
連絡先	担当者名：稲積 正子	電 話：0893-34-2160
実施箇所	大洲市	
事業の概要	地域材を使用したベンチを作製し、地域の幼稚園、小学校、公民館などに設置した。	
事業費	事業費：403,548円	補助金額：400,000円
活動状況	活動回数：4回	参加延べ人数：67人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号47

事業名	八西地区地産地消の家づくり推進	
事業主体名	八西地区林材業振興会議	
代表者名	代表者名：高橋 英吾	
事務局住所	八幡浜市北浜1丁目3番37号	
連絡先	担当者名：渡部 広行	電 話：0894-22-2031
実施箇所	八幡浜市	
事業の概要	地域材の活用を普及するため、木造住宅（構造）のミニチュアを作製し、家づくりの学習会などを開催した。	
事業費	事業費：501,101円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：10回	参加延べ人数：348人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号48

事業名	ふるさと探訪明治を歩く八幡浜・川之石エコウォーク	
事業主体名	南海放送株式会社	
代表者名	代表者名：松友 勝俊	
事務局住所	松山市本町1-1-1	
連絡先	担当者名：小倉 健嗣	電話：089-915-3815
実施箇所	八幡浜市	
事業の概要	環境への意識を高めるエコウォークにあわせて、森林について学習し、プランターカバーを作製し市内の小中学校に配布した。	
事業費	事業費：532,000円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：37人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号49

事業名	間伐材を使ったベンチ製作	
事業主体名	二見地区公園管理委員会	
代表者名	代表者名：竹場 淳	会員：20名
事務局住所	西宇和郡伊方町二見甲2265番地1	
連絡先	担当者名：竹場 淳	電話：0894-39-0670
実施箇所	伊方町	
事業の概要	地域住民が木材に親しめるよう伊方町亀ヶ池公園にベンチを作製・設置した。	
事業費	事業費：525,000円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：45人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号50

事業名	木材とのふれあい促進	
事業主体名	石城レクバレーチーム	
代表者名	代表者名：山口 佳子	会 員：11名
事務局住所	西予市宇和町西山田907-1	
連絡先	担当者名：是澤 教子	電 話：0894-62-9780
実施箇所	西予市	
事業の概要	地域の子ども達とスギ材を使用したベンチを作製し、地域で活用するよう公民館や社会福祉施設などに配布した。	
事業費	事業費：500,070円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：5回	参加延べ人数：108人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号51

事業名	親子で木工体験	
事業主体名	西予市森林と緑の推進協議会	
代表者名	代表者名：三好 幹二	会 員：14名
事務局住所	西予市城川町下相945	
連絡先	担当者名：富永 時蔵	電 話：0894-82-1111
実施箇所	西予市	
事業の概要	親子が気軽に参加し森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。	
事業費	事業費：300,000円	補助金額：300,000円
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：81人
状況写真		

(木をつかう活動)

整理番号52

事業名	木材とのふれあい促進
事業主体名	平野大人と子供のふれあいと自然活動
代表者名	代表者名：西川 保徳 会 員：19名
事務局住所	西予市宇和町平野1-203
連絡先	担当者名：上甲 知宏 電 話：0894-62-1671
実施箇所	西予市
事業の概要	地域材を使用したベンチを作製し、集会所などへ配布した。
事業費	事業費：293,588円 補助金額：293,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：30人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号53

事業名	木材とのふれあい促進
事業主体名	元気みやのうら
代表者名	代表者名：松島 義幸 会 員：15名
事務局住所	西予市明浜町宮浦甲1039
連絡先	担当者名：土居 賢一 電 話：0894-64-1319
実施箇所	西予市
事業の概要	地域の子ども達とスギ材を使用したベンチを作製し、地域で活用するよう公民館や小学校などに配布した。
事業費	事業費：500,185円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：2回 参加延べ人数：39人
状況写真	

(木をつかう活動)

整理番号54

事業名	木とのふれあい教室（親子手作り木工広場）	
事業主体名	南宇和地区林材業振興会議	
代表者名	代表者名：谷口 長治	
事務局住所	南宇和郡愛南町御荘平城3048	
連絡先	担当者名：二宮 成史	電話：0895-72-0931
実施箇所	愛南町	
事業の概要	森林・林業に理解を深める木工広場を開催した。	
事業費	事業費：405,897円	補助金額：400,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：370人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号55

事業名	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育	
事業主体名	夢遊友うずい	
代表者名	代表者名：神野 敬二	会員：43名
事務局住所	新居浜市大生院1599-5	
連絡先	担当者名：神野 泰次	電話：0897-43-3104
実施箇所	新居浜市	
事業の概要	しいたけ植菌体験会を通じて広葉樹の多面的機能を学習した。	
事業費	事業費：64,410円	補助金額：60,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：66人
状況写真		



(森とくらす活動)

整理番号56

事業名	石鎚森の学校2007	
事業主体名	NPO法人石鎚森の学校	
代表者名	代表者名：十亀 興美	会 員：142名
事務局住所	西条市西田甲797	
連絡先	担当者名：岩本 昌美	電 話：0897-52-5275
実施箇所	西条市	
事業の概要	森林環境保全の大切さを体感するため、石鎚山頂周辺の森林で、自然観察、森林整備体験会を開催した。	
事業費	事業費：500,989円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：76人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号57

事業名	千年の森の自然体験キャンプ	
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会 員：270名
事務局住所	東温市井内甲915-2	
連絡先	担当者名：鶴見 恵子	電 話：089-966-6251
実施箇所	東温市	
事業の概要	小学生を対象に、枝打ち、下刈り、間伐材を使った木工などが体験できる学習会を開催した。	
事業費	事業費：501,840円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：59人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号58

事業名	もりもりCO <sub>2</sub> ダイエットPARTⅡ
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会
代表者名	代表者名：鶴見 武道 会 員：270名
事務局住所	東温市井内甲915-2
連絡先	担当者名：鶴見 恵子 電 話：089-966-6251
実施箇所	東温市
事業の概要	間伐材の有効利用として、木質バイオマスを普及する、間伐体験・ペレットストーブの利用体験会を開催した。
事業費	事業費：458,163円 補助金額：458,000円
活動状況	活動回数：4回 参加延べ人数：670人
状況写真	

(森とくらす活動)

整理番号59

事業名	森と木造の家との饗宴
事業主体名	ふくさの森の会
代表者名	代表者名：村上 帛子 会 員：5名
事務局住所	東温市横河原1285
連絡先	担当者名：村上 帛子 電 話：089-964-2657
実施箇所	東温市
事業の概要	地域の元集会所である木造の家とその周辺森林で、都市住民が森とふれあう、木工体験、生活体験会などを開催した。
事業費	事業費：503,198円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：25回 参加延べ人数：281人
状況写真	


(森とくらす活動)

整理番号60

事業名	プロジェクト与作 (里山再生プログラム)
事業主体名	チームプロジェクト与作
代表者名	代表者名：伊藤 和貴                      会 員：8名
事務局住所	松山市樽味3-5-7 (愛媛大学農学部内)
連絡先	担当者名：伊藤 和貴                      電 話：089-946-9866
実施箇所	松山市
事業の概要	小学生を対象に、ベンチづくり体験を通して森林・木材の循環利用について考える森林環境教育を実施した。
事業費	事業費：433,442円                      補助金額：433,000円
活動状況	活動回数：4回                      参加延べ人数：78人
状況写真	

(森とくらす活動)

整理番号61

事業名	こども自然案内人養成講座
事業主体名	えひめ地域づくりネットワーク
代表者名	代表者名：三好 尚美
事務局住所	松山市朝日ヶ丘2-1-17
連絡先	担当者名：三好 尚美                      電 話：089-923-4080
実施箇所	松山市
事業の概要	学校や地域で自然観察などのリーダーを養成する講座 (森林観察、炭焼きなど) を開催した。
事業費	事業費：450,612円                      補助金額：450,000円
活動状況	活動回数：6回                      参加延べ人数：87人
状況写真	

(森とくらす活動)

整理番号62

事業名	こども森の学校
事業主体名	松山こども夢ひろば
代表者名	代表者名：小泉勇治郎                      会 員：20名
事務局住所	松山市朝日ヶ丘2-1-17
連絡先	担当者名：三好 康晴                      電 話：089-923-4080
実施箇所	松山市
事業の概要	松山総合公園内の森林で、森林の大切さや守る心を育て、環境のために行動できる子供を育てる「森の学校」を開催した。
事業費	事業費：470,483円                      補助金額：470,000円
活動状況	活動回数：12回                      参加延べ人数：211人
状況写真	

(森とくらす活動)

整理番号63

事業名	薪を使ってバイオマス活用
事業主体名	焚き火クラブ
代表者名	代表者名：大成 郁生                      会 員：18名
事務局住所	松山市南久米町546-1
連絡先	担当者名：大成 郁生                      電 話：089-976-1594
実施箇所	松山市
事業の概要	身近な燃料の薪を通じて木質バイオマスを普及する、間伐体験会や薪割り体験会を開催した。
事業費	事業費：444,080円                      補助金額：444,000円
活動状況	活動回数：7回                      参加延べ人数：442人
状況写真	

(森とくらす活動)

整理番号64

事業名	森の時間その3～おいしい年輪をつくろう～	
事業主体名	NPO法人自然環境教育えことのは	
代表者名	代表者名：斉藤 智子	会 員：10名
事務局住所	松山市久米窪田町443-411	
連絡先	担当者名：斉藤 智子	電 話：089-975-6959
実施箇所	松山市	
事業の概要	森林と暮らしのかかわりを学ぶため、食材を探して学ぶ森林散策会や時間の流れを学ぶ年輪観察会などを開催した。	
事業費	事業費：325,380円	補助金額：325,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：94人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号65

事業名	“森の広場”木と遊ぼう・歌おう	
事業主体名	ムッターシューレ愛媛	
代表者名	代表者名：木原 真巳	会 員：22名
事務局住所	松山市宮田町188-8-1302	
連絡先	担当者名：木原 真巳	電 話：089-934-1352
実施箇所	松山市	
事業の概要	将来を担う幼児に五感を通じて森や木に親しむ機会を与える、紙芝居、クラフト体験などを開催した。	
事業費	事業費：503,162円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：8回	参加延べ人数：521人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号66

事業名	森林・自然体験活動推進		
事業主体名	森林・自然体験活動連絡会		
代表者名	代表者名：宇都宮東吾	会 員：165名	
事務局住所	松山市東本2丁目7-17		
連絡先	担当者名：宇都宮東吾	電 話：089-932-8991	
実施箇所	伊予市		
事業の概要	森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園などでネイチャーゲーム、クラフト教室、きのこ観察会などを開催した。		
事業費	事業費：500,458円	補助金額：500,000円	
活動状況	活動回数：8回	参加延べ人数：767人	
状況写真			

(森とくらす活動)

整理番号67

事業名	えひめ山の日 に森へ行こう		
事業主体名	えひめ森林ボランティア連絡協議会		
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会 員：2735名	
事務局住所	東温市田窪743		
連絡先	担当者名：鶴見 武道	電 話：089-990-7017	
実施箇所	伊予市		
事業の概要	「えひめ山の日（11月11日）」に県下3箇所で開催した。		
事業費	事業費：403,633円	補助金額：403,000円	
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：356人	
状況写真			

(森とくらす活動)

整理番号68

事業名	森林林業教室開催	
事業主体名	八西林業研究グループ	
代表者名	代表者名：増岡 達郎	会 員：7名
事務局住所	八幡浜市北浜1丁目3番37号	
連絡先	担当者名：宮内 千波	電 話：0894-22-2031
実施箇所	八幡浜市	
事業の概要	地域の小学生親子を対象に、木工やしいたけ植菌体験を通して、森林やきのこの働きを学習する森林教室を開催した。	
事業費	事業費：502,473円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：12回	参加延べ人数：379人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号69

事業名	「佐田岬半島巨木図鑑」作成・配布と「春夏秋冬森の役割観察会」	
事業主体名	さんきら自然塾	
代表者名	代表者名：水本 孝志	会 員：30名
事務局住所	八幡浜市大平1-865-2	
連絡先	担当者名：水本 孝志	電 話：0894-24-4961
実施箇所	八幡浜市	
事業の概要	地域住民に親しまれている佐田岬半島の巨木を調査し、写真チラシ（A3版1枚）を作製し、自然観察会を開催した。	
事業費	事業費：491,852円	補助金額：489,000円
活動状況	活動回数：12回	参加延べ人数：471人
状況写真		

(森とくらす活動)

整理番号70

事業名	里山の植生調査とふれあい
事業主体名	むらの新資源研究会・山奥組
代表者名	代表者名：萩野 久利                      会 員：134名
事務局住所	西予市野村町釜川3-281
連絡先	担当者名：井上 登                      電 話：0894-72-2584
実施箇所	西予市
事業の概要	これまで整備してきた里山の植生図鑑や町内の巨木図鑑を作製し、観察会などを開催した。
事業費	事業費：1,019,246円                      補助金額：750,000円
活動状況	活動回数：5回                              参加延べ人数：226人
状況写真	  

(森とくらす活動)

整理番号71

事業名	森林環境について考える交流活動
事業主体名	百姓百品株式会社
代表者名	代表者名：和気 数男                      会 員：391名
事務局住所	西予市野村町野村12号15番地
連絡先	担当者名：和気 数男                      電 話：0894-72-0177
実施箇所	西予市
事業の概要	都市住民が、シイタケ植菌作業を通じて森林の現状や保全活動を学習した。
事業費	事業費：502,550円                      補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：8回                              参加延べ人数：119人
状況写真	  



事業名	炭焼き・しいたけ栽培体験
事業主体名	社会福祉法人宇和町社会福祉施設協会希望の森
代表者名	代表者名：清水利三郎                      会 員：81名
事務局住所	西予市宇和町小野田1295
連絡先	担当者名：末光 一也                      電 話：0894-62-5500
実施箇所	西予市
事業の概要	地域住民が交流を深めながら、炭焼き体験会やしいたけ植菌体験会を開催した。
事業費	事業費：516,741円                      補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：6回                      参加延べ人数：781人
状況写真	

# 資料編

## 税制度の概要

納める方式	県民税均等割上乘せ課税方式（法定普通税）																		
納める人	県内に住所、事業所などがある個人・法人 （個人県民税及び法人県民税の均等割の納税義務者）																		
納める額	<p>個人 年額500円 年齢65歳以上で前年の所得が125万円以下の者については、平成18年度分は100円、平成19年度分は300円になります。</p> <p>法人 県税条例で定める均等割額の5%相当額</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>資本等の金額の区分</th> <th>現行税率</th> <th>上乘せ額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>840,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超50億円以下</td> <td>567,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>1億円超10億円以下</td> <td>136,500円</td> <td>6,500円</td> </tr> <tr> <td>1,000万円超1億円以下</td> <td>52,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>21,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>	資本等の金額の区分	現行税率	上乘せ額	50億円超	840,000円	40,000円	10億円超50億円以下	567,000円	27,000円	1億円超10億円以下	136,500円	6,500円	1,000万円超1億円以下	52,500円	2,500円	上記以外	21,000円	1,000円
資本等の金額の区分	現行税率	上乘せ額																	
50億円超	840,000円	40,000円																	
10億円超50億円以下	567,000円	27,000円																	
1億円超10億円以下	136,500円	6,500円																	
1,000万円超1億円以下	52,500円	2,500円																	
上記以外	21,000円	1,000円																	
納める方法	<p>個人県民税は市町村が給与所得者は特別徴収、事業所得者等は普通徴収、法人県民税は法人が県に申告納付します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>&lt;個人の場合&gt;</b></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>&lt;法人の場合&gt;</b></p> </div> </div>																		
税収の管理	森林環境税は普通税として徴収しますが、その目的を明確にするため、基金に積み立て、基金運営委員会を設置することにより適正に管理します。																		
実施期間	実施期間は5年間とし、期間満了時に見直し・検討を行います。																		

○愛媛県条例第46号

平成16年12月24日

改正 平成17年7月19日条例第46号

愛媛県森林環境税条例を次のように公布する。

愛媛県知事 加 戸 守 行

愛媛県森林環境税条例

(趣旨)

第1条 この条例は、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に要する経費の財源を確保するために森林環境税を課するため、県民税の均等割の税率に関し、愛媛県県税賦課徴収条例（昭和25年愛媛県条例第21号。以下「県税条例」という。）の特例を定めるものとする。

(賦課徴収)

第2条 森林環境税は、次条の規定により個人の県民税の均等割の税率に加算し、及び第4条の規定により法人等の県民税の均等割の税率に加算して賦課徴収する。

(個人の県民税の均等割の税率の特例)

第3条 平成17年度から平成21年度までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第1号の規定にかかわらず、同号に定める額に500円を加算した額とする。

(法人等の県民税の均等割の税率の特例)

第4条 平成17年4月1日から平成22年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は当該期間における地方税法（昭和25年法律第226号）第52条第2項第3号若しくは第4号の期間に係る法人等の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第2号の規定にかかわらず、同号の表の左欄に掲げる法人等の区分に応じ、それぞれ当該右欄に定める額に、当該額に100分の5を乗じて得た額を加算した額とする。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

一部改正〔平成17年条例第46号〕

(経過措置)

2 平成17年度分の個人の県民税に限り、平成17年1月1日現在において、県内に住所を有することにより均等割の納税義務を負う夫と生計を一にする妻で夫が住所を有する市町村内に住所を有するものに係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例の一部を改正する条例（平成16年愛媛県条例第26号）附則第8項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に200円」とする。

一部改正〔平成17年条例第46号〕

3 平成18年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（地方税法等の一部を改正する法律（平成17年法律第5号）第1条の規定による改正後の地方税法（以下「新法」という。）の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第3項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に100円」とする。

追加〔平成17年条例第46号〕

4 平成19年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（新法の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第5項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に300円」とする。

追加〔平成17年条例第46号〕

附 則（平成17年7月19日条例第46号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。（後略）

(県民税に関する経過措置)

2 第1条の規定による改正後の愛媛県県税賦課徴収条例（以下「新条例」という。）附則第6条の規定は、平成18年度以後の年度分の個人の県民税について適用し、平成17年度分までの個人の県民税については、なお従前の例による。

3 平成18年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（地方税法等の一部を改正する法律（平成17年法律第5号）第1条の規定による改正後の地方税法（昭和25年法律第226号。以下「新法」という。）の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「300円」とする。

4 県は、平成18年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割（新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。）については、新条例の規定中所得割に関する部分（新条例第16条を除く。）を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の2に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第4項」とする。

5 平成19年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（新法の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「600円」とする。

6 県は、平成19年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割（新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。）については、新条例の規定中所得割に関する部分（新条例第16条を除く。）を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の1に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第6項」とする

○愛媛県条例第50号

愛媛県森林環境保全基金条例を次のように公布する。

平成16年12月24日

愛媛県知事 加 戸 守 行

愛媛県森林環境保全基金条例

(設置)

第1条 水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策を推進するため、森林環境保全基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、愛媛県森林環境税条例（平成16年愛媛県条例第46号）の規定による森林環境税の収入額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除した額で一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に編入する。

(処分)

第5条 基金は、第1条の目的を達成するための事業に要する経費並びに基金の管理及び運営に要する経費に充てるため、その全部又は一部を処分することができる。

(繰替運用)

第6条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(愛媛県森林環境保全基金運営委員会)

第7条 第5条に規定する事業に関する事項その他基金に関する事項を調査審議させる等のため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、学識経験のある者その他適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

## 愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿

選任数：10名（男5名、女5名）

任 期：平成19年4月1日～平成21年3月31日（2年間）

（五十音順）

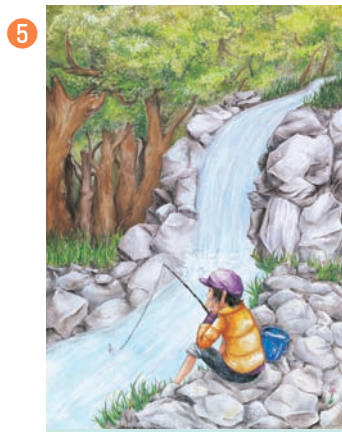
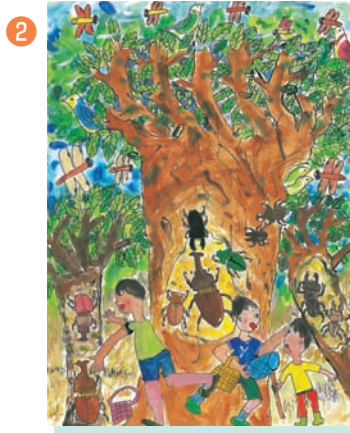
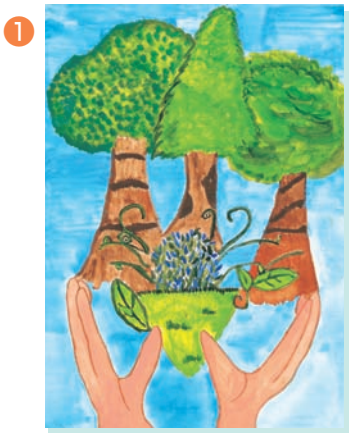
選任区分	氏 名	職 名	備 考
林業関係者	おか しん いち 岡 信 一	愛媛県指導林家	
木材関係者	おか しん じ 岡 慎 治	前愛媛県木材青年経営者協議会会長	
消費者代表	おやまだ けい こ 小山田 敬 子	前えひめ生活センター友の会会長	副委員長
ボランティア関係者	きく ち おさむ 菊 池 修	えひめNPOセンター代表理事	
学識経験者	しら いし まさ や 白 石 雅 也	愛媛大学名誉教授	委員長
漁業関係者	たけ べ つき み 武 部 月 美	愛媛県漁協女性部連合会副会長	
公募委員	たけ もり まり え 竹 森 まりえ	WEB企画制作	
福祉関係者	なか にし のり こ 中 西 典 子	愛媛大学教育学部准教授	
環境教育関係者	やま だ ゆ み 山 田 由 美	前愛媛県PTA連合会副会長	
企業関係者	やま もと いさお 山 本 功	愛媛県中小企業団体中央会会長	

# 森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク

## ポスター（平成17年10月選定）

### <作者>

- |   |                   |          |            |
|---|-------------------|----------|------------|
| ① | いし だ<br>石 田       | じゅん<br>潤 | 今治市立常盤小学校  |
| ② | きく ち やす<br>菊 池 安  | のり<br>倫  | 八幡浜市立日土小学校 |
| ③ | なか がわ ゆ<br>中 川 友  | き<br>輝   | 県立三島高等学校   |
| ④ | ひら はら まい<br>平 原 舞 | こ<br>子   | 県立今治工業高等学校 |
| ⑤ | ふく だ あや<br>福 田 礼  | か<br>花   | 県立三崎高等学校   |



## シンボルマーク

### <デザイン作者>

いけ だ まさ よ  
池 田 正 誉

一般

(平成17年10月選定)

### <愛称作者>

たか つき ゆう ま  
高 月 悠 馬

県立松山商業高等学校

(平成18年10月選定)



愛称 E~もりくん

**編集** 愛媛県農林水産部森林局林業政策課

〃 森林整備課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2

TEL 089-912-2597

FAX 089-947-1041

**写真** 表表紙

森林環境税普及啓発用ポスター

(平成17年10月選定)

(作者：中川友輝／県立三島高等学校)



# 募集

**森林づくりフィールド提供者**

**森林づくり活動者**(企業・県民・各団体等)

愛媛県では、県民の皆さんが森林に親しみ、森林とふれあう機会を創出するため  
森林づくり活動を行う場(森林づくりフィールド)と  
森林整備等の活動を行っていただく方(森林づくり活動者)を募集しています。  
詳しくは、愛媛県森の交流センターまでお問い合わせください。



平成19年度には「企業の森づくり」の第1号として太陽石油(株)さんが今治市で活動



お問い合わせ

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県庁  
**農林水産部森林局森林整備課保護緑化係**  
TEL 089-912-2597 FAX 089-947-1041  
所属URL <http://www.pref.ehime.jp/h35900.html>  
所属E-mail [shinrin@pref.ehime.jp](mailto:shinrin@pref.ehime.jp)

〒791-0212 東温市田窪743  
**森の交流センター**(愛媛県農林水産研究所林業研究センター東温研修地内)  
TEL 089-990-7017 FAX 089-990-7073  
所属URL <http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/090shinrin/00006366050511/kouryucenter/index.htm>  
所属E-mail [shinrin@pref.ehime.jp](mailto:shinrin@pref.ehime.jp)